

関西支部だより

時習館

かんさい

第 27 号

〒542-0081 大阪市中央区南船場 1-14-1
山本通産株式会社内

時習館同窓会関西支部発行

TEL (06)6252-2131

FAX (06)6261-2020

E-mail ishikawa@ytc-j.co.jp

振替口座番号 00960-3-32608

時習館創立120周年
記念特集号



ウエスティン都ホテル京都 外観

関西支部総会開催 平成25年6月9日(日) 12時～16時

第47回 時習館同窓会関西支部総会ならびに懇親会を、来る6月9日(日)、京都東山に佇むウエスティン都ホテルで開催いたします。会場では、総会開催前に宇治茶によるウエルカムティーでのお出迎え、懇親会では講演に引き続き、尺八と琴の演奏を聞いていただきます。時習館創立120周年を1200年の歴史ある古都京都で盛大に祝いたいと思います。会員の皆様のご参加をお待ちしています。

記

と き：平成25年6月9日(日) 12:00～16:00

ところ：ウエスティン都ホテル京都

会 費：10,000円 (学生 3,000円) ご家族の方の参加も大歓迎です。

もくじ

「伝統と創造」	石川吉之助	1
〈支部総会など〉		
平成 24 年度支部総会・懇親会&観光スナッフ		2
平成 24 年度総会出席者リスト・平成 24 年度分年会費納入者		5
平成 23 年度会計報告及び平成 24 年度時習館同窓会関西支部役員		7
関西支部第 46 回総会・懇親会の報告	山村 信哉	8
時習魂の心意気を京都東山に轟かそう	石田 天祐	11
〈特別寄稿 母校、本部よりのたより〉		
ハンテン木並木から世界へ！	時習館高等学校 谷山 渡	13
時習館創立 120 周年記念事業	時習館同窓会本部 安田 直樹	16
〈特集記事、最先端で活躍する同窓生〉		
私の研究生生活	島本 功	19
出会いこそ人生	岡田 行功	21
時習館卒業後のことなど	松岡 譲	23
『最強ドリル vs. 最強金属』	大沢 二郎	25
〈特別投稿〉		
健康で美味しい笑顔の輪「金とび志賀の目指す道」	志賀 重介	29
関西支部総会でサックス演奏	福井 敬	31
ステイシーのホームステイ「言葉お通じなくても気持ちはお通じる」	堂本こすぎ & ステイシー	33
〈会員だより・その道を極める同窓生たち〉		
「大地の子」の回想	春山 丈夫	37
隙間ものづくり「漆器の世界」	川勝英十津	39
晝表に魅せられて	小田 宗	42
魅力的な関西支部の総会・懇親会「関西支部の一員に」	岡田 康彦	45
関西支部に入会しました「加西市を終の棲家に」	松下 和正	47
大学から匂いが消えた	島本 澁	49
わが国の「新聞の父」ジョセフ・ヒコは兵庫生まれ	熊谷 信哉	51
思い出の地にみんなで立った！	鈴木 優	54
お茶を世界に～宇治茶伝来 800 年に因み～	森下 庸子	57
健康と味にこだわる「すっぽんラーメンの道」	森下亜希子	59
海獣たちが教えてくれること	伊藤このみ	61
〈支部だより・活動報告〉		
東京支部から「ファイアーストームと渥美湾」	杉井 孝	65
J K L 便り 時習館関西女性の会	園家 文	67
ゴルフ同好会からの報告	山村 信哉	69
〈お知らせ〉		
事務局からのお知らせ、会員の動静		71
先輩からの温かい援助&『時習館かんさい』へ投稿してみませんか		73
編集後記		74



「伝統と創造」

時習館同窓会関西支部

支部長 石川 吉之助（時習12）



2013年が明るい雰囲気の中に明けました。

昨年末にかけて進んだ円高修正の流れが株高へとつながり、景気改善の期待感が一気に強まりました。

大胆な金融政策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略という3本の矢を掲げる“アベノミクス”の成果と言われます。

今年は、時習館創立120周年にあたり「伝統と創造」をテーマにして、関西支部総会を6月9日（日）に開催します。

120年前の時習館の先輩たちは19世紀の終わり、日清戦争直前の我国にあって何を考え何を夢見て勉強したのか、やがてくる20世紀の到来を希望と祝福をもって迎えたに違いないと熱いものを感じます。

ダーウィンは進化論で「**最も強いものが生き残るのではなく、最も賢いものが**

生き延びるでもない。唯一生き残るのは変化できるものである」と述べています。

守るべき伝統は守りつつ積極果敢に新しい時代を創造してこそ時習館は存続できます。

今年京都の下鴨神社では式年遷宮といって21年ごとの社殿の修繕、建て替えの準備をしており、2015年に控えた34回目の遷宮に向けて、すでに昨年から各種儀式を始めているとのこと、式年遷宮は伊勢神宮においても行われています。建物とその技術を後世に伝えるためのもので、存続のための古くからの知恵です。

「変わることは再生すること」古今東西、時代を超えて共通する摂理なのかも知れません。

「**不易流行**」は企業であれ学校であれ、あらゆる組織が存続し発展するための根本であると信じます。



平成24年度

総会・懇親会

スナッフ



石川支部長挨拶



司会の鈴木（優）さん



来賓挨拶 大澤会長



来賓挨拶 林校長



受付風景



林校長から母校の近況を聞く会員



会計監査報告 花井会計と山村監査



堂本さん、ステイシーさん、大石さん



活報 伊藤事務局長



鬼本さんによる講演



松井さんによる講演



懇親会の司会 鈴木さんと古田さん



講演を聴く会員



乾杯の音頭は大石さん



東京支部 杉井事務局長



名古屋支部 榊枝部長



名古屋支部 松尾幹事長



東京支部 岡田支部長



特別参加 米国空軍士官
学校 Staci Rosue



人生の達人の皆さん



大河先生と坂部さん



林校長とステイシーさんを囲み



岩田さんと時 11~17 回生の皆さん



時 20&21 回生の皆さん



近況報告：岡田（順）さん



時 14 回生 勢揃い



若手の皆さん



最年少 川嶋さん



時 26&27 回生の皆さん



白井さん



岸本さん



中西さんと岸本さん



漆器の川勝さん



次回アトラクション松下さん



サクスの福井（敬）さん



ヴァイオリンの松井さん



ジャズ演奏風景：サクスは福井さん



熱唱する藤巻さん、ヴァイオリンは松井さん



講演者およびジャズ演奏者に花束贈呈、藤巻さんへは春山さんから



JNL より 三林さんと庄田さん



松井さんのヴァイオリン、東海さんの指揮で校歌斉唱



豊中校歌斉唱



若手 4 人の音頭で万歳三唱



京都総会決意：美馬さん



閉会のあいさつ：片岡さん

平成24年度時習館同窓会関西支部 総会・懇親会出席者

(平成24年6月10日 於：六甲山ホテル)

本部長

会長	大澤 輝秀	(時8)	副会長	清水 宏子	(時14)
副会長	高須 博久	(時21)	副会長	福井 英輔	(時26)
理事	佐藤 元彦	(時1)	幹事長	大林 淳夫	(時2)
幹事	大河 一夫	(時16)			
顧問	林 蒼樹 校長先生		校内幹事	高畑 尚弘 教頭先生	
校内幹事	飛松 孝司 先生	(時30)			
東京支部より	東京支部事務局長	杉井 孝 (時17)			
名古屋支部より	名古屋支部支部長	神野 義郎 (時3)			
同上	名古屋支部副幹事長	松原 秀式 (時24)			

(回) (氏名)	(勤務先)	出身小・中学校	(回) (氏名)	(勤務先)	出身小・中学校
	(豊中)			(時習館)	
47 杉浦 昭典		新川小	20 宇留島美恵	PCL福岡内務総合センター	東田小・青陵中
47 春山 丈夫	春山技術士事務所	新川小	20 岡田 順子	みどり会中村病院薬剤部長	松山小・中部中
49 福井 信雄		松葉小	20 河合 行朗	クロダジャパン (株)	新川小・中部中
	(時習館)		21 石川 裕和	トヨタホーム近畿 (株)	美合小・美川中
4 庄田 綾子	JNL 名古屋支部より参加		21 竹内 隆夫	竹内総合法律事務所	三谷小・中
4 三林 宏榮	JNL 名古屋支部より参加		21 利根川 躍	三菱UFJホールディングス (株)	大崎小・南陵中
4 鷺尾美和子	JNL 名古屋支部より参加		21 横井 愛子	株式会社 諸国美味	福岡小・南部中
7 東海 和子		高師小・南部中	23 岸本 由枝	神戸市和光園	植田小・南陵中
8 岩田 孝枝		新川小・中部中	23 中西 立美		海老小・中
9 中村 和歳		牟呂小・中	24 岡田 博子		松山小・中部中
10 大石由紀子	Tada Parking Lot	松葉小・豊城中	24 高野 光代		松山小・中部中
10 成田 一郎	海技大学校 客員教授	蒲郡東部・小蒲郡中	24 宮崎 祐二	宮崎法律事務所	向山小・中部中
11 荒島 啓子		蒲郡南部・小蒲郡中	26 鈴木 優	関西テレビ放送 秘書室長	蒲郡中
11 美馬 洋子		蒲郡南部小・蒲郡中	27 和泉 裕子		新城小・新城中
12 石川吉之助	山本通産 (株)	蒲郡南部小・豊城中	27 鬼本英太郎	兵庫県淡路県民局副局長	東京明豊岐阜大付属中
12 川勝英十津			27 北川 井子		細谷小・五並中
12 鈴木 茂樹	(株)カバーオールジャパン	新川小・中部中	27 松井誠一郎	神戸市医師会理事整形外科医	羽田中
13 荒島 康守			29 福井 敬	トヨネン (株) サックス演奏	松山小・中部中
13 伊藤 忠男	(株)丸島アクアシステム	小沢小・五並中	29 真木 伸治	(有) しいば水産	松山小・中部中
13 小田 宗		蒲郡南部小・蒲郡中	29 丸地 敏夫	コニカミノルタオプト (株)	中部中
13 近藤 洋		神戸高羽小名古屋前津中	32 倉田 正也	(株) ツムラ大阪支店	新川小・中部中
14 石田 天祐	(株) ギルガメシュ	森小・湖西中	32 佐藤 幸隆	ソニーイーエムショーエス (株)	旭小・青陵中
14 岡田 康彦	弁護士法人北浜法律事務所	小坂井東小愛知学芸大付属中	35 近田 昇	(株) 関西メディカルネット	一宮東部小・一宮中
14 片岡 聡子		松葉小・豊城中	36 鈴木富美子		植田小・南陵中
14 川瀬 義隆		三島小・石巻中	46 福田 悦子	大東市役所	豊岡中
14 園家 文	書家	杉山小・中	48 川島 正樹	京都中央税理士法人	
14 藤巻 篤子	木戸クリニック・眼科医	新潟県10日町小・青陵中			
14 古田 啓子		二川小・中			
14 松下 和正		蒲郡南部小・蒲郡中			
15 吉田 久善	協和道路 (株)	八町小・豊城中	大澤 淑子	大澤輝秀様の奥様	
16 坂部 征彦		新城小・中	Staci Rosue	堂本さん宅ホームステイ	米国空軍士官学校在
17 白井 一次	損保料率算出機構京都自賠責損害調査事務所	国府小・豊川西部中			
17 花井 俊作	アサヒ産業(株)	松葉小・豊城中			
17 山村 信哉	医療法人甲聖会	豊川小・東部中			
18 池田 和子		青陵中			
18 井上 亮二	(株) サンリバー	羽根井小・羽田中	小出 恭二	バス担当	バンドリーダー
18 熊谷 信哉	神戸新聞社	愛教大付属中	河村 孝彦	ピアノ担当	
18 堂本こすぎ		豊城中	乾 幾二	ドラム担当	

特別参加者

特別招待者

(ジャズ演奏者)

平成24年度分 賛助金・年会費納入者

平成24年度分 賛助金納入者

田村 英雄 (豊39)	高橋美智子 (時3)	尾野あつ子 (時8)	美馬 洋子 (時11)	森下 宣彦 (時13)
河合 程一 (豊41)	彦坂 利久 (時3)	片岡優美子 (時8)	石川吉之助 (時12)	石田 天祐 (時14)
四方 健一 (豊44)	市村 方子 (時4)	草場 恒夫 (時8)	川勝英十津 (時12)	岡田 康彦 (時14)
赤木 公 (豊46)	長田美智子 (時4)	森田七三郎 (時8)	近藤 修 (時12)	片岡 聰子 (時14)
杉浦 昭典 (豊47)	伴 正義 (時4)	富安 淳夫 (時9)	鈴木 茂樹 (時12)	川瀬 義隆 (時14)
春山 丈夫 (豊47)	藤村 恵子 (時4)	中村 和歳 (時9)	滋賀県匿名 (時12)	園家 文 (時14)
藤田 彰久 (豊47)	大林 冷子 (時6)	松尾 昌子 (時9)	荒島 康守 (時13)	藤巻 篤子 (時14)
渡辺 孝宏 (豊47)	牧野 健士 (時6)	大石由紀子 (時10)	伊藤 忠男 (時13)	古田 啓子 (時14)
花田 庄司 (豊49)	水尾 悦子 (時6)	井端 幸子 (時10)	小野 英道 (時13)	松下 和正 (時14)
福井 信雄 (豊49)	東海 和子 (時7)	菅原 民夫 (時10)	近藤 洋 (時13)	
古田益太郎 (豊49)	廣田 襄 (時7)	土屋龍太郎 (時10)	白井 孝夫 (時13)	
神谷 進一 (時1)	廣田 輝子 (時7)	成田 一郎 (時10)	平井 早苗 (時13)	
近田 良治 (時1)	岩田 孝枝 (時8)	荒島 啓子 (時11)	松尾 秀城 (時13)	

平成24年度分 年会費納入者

田村駒二郎 (時15)	水口 道子 (時18)	石川 裕和 (時21)	竹内 光一 (時24)	奥山 真理 (時30)
藤田 和弘 (時15)	宮城 治男 (時18)	梅田 洋一 (時21)	中根巳喜男 (時24)	菊井 昌代 (時30)
吉田 久善 (時15)	吉田 眞子 (時18)	榎本 直行 (時21)	宮崎 裕二 (時24)	熊本 和正 (時31)
山崎 達彦 (時15)	富山 幸世 (時19)	鈴木 晴久 (時21)	山本 雄二 (時24)	倉田 正也 (時32)
坂部 征彦 (時16)	内藤 健 (時19)	竹内 隆夫 (時21)	加藤 公也 (時25)	鈴木 慎也 (時32)
村田 正好 (時16)	内藤 壮一 (時19)	利根川 躍 (時21)	田中紀代子 (時25)	馬場奈都子 (時32)
山田 秀司 (時16)	福重 恭子 (時19)	横井 愛子 (時21)	森下 庸子 (時25)	近田 昇 (時35)
宇井 正和 (時17)	福田 明 (時19)	米田 隆子 (時21)	善積あさみ (時25)	金井 裕子 (時36)
桑木 桂子 (時17)	三井 節子 (時19)	河合左千夫 (時22)	鈴木 優 (時26)	鈴木富美子 (時36)
柴田太郎 (時17)	武藤 栄一 (時19)	夏目えり子 (時22)	林 政司 (時26)	西川 栄子 (時37)
白井 一次 (時17)	森田 薫 (時19)	西井 完 (時22)	和泉 裕子 (時27)	渡邊 淳子 (時45)
神藤裕一郎 (時17)	宇留島美恵 (時20)	羽賀 知行 (時22)	鬼本英太郎 (時27)	福田 悦子 (時46)
花井 俊作 (時17)	岡田 行功 (時20)	伊与田 功 (時23)	北川 井子 (時27)	川島 正樹 (時48)
山村 信哉 (時17)	岡田 順子 (時20)	岸本 由枝 (時23)	不破 靖 (時27)	小川 智子 (時58)
吉岡 順子 (時17)	河合 行朗 (時20)	中西 立美 (時23)	松井誠一郎 (時27)	
池田 和子 (時18)	小西 康雄 (時20)	池田 真弓 (時24)	竹中美由機 (時28)	
市原 俊彦 (時18)	田中 登 (時20)	岡田 博子 (時24)	藤井 順子 (時28)	
熊谷 信哉 (時18)	長野 鈴代 (時20)	瀬野 敦子 (時24)	真木 伸二 (時29)	
堂本こすぎ (時18)	山口真知子 (時20)	高野 光代 (時24)	丸地 敏夫 (時29)	

(本誌作成着手以降にお振り込みいただいた方については、正確でない場合が考えられますので、その際はご容赦願います)

「お水取り」見学のご報告



平成25年3月2日(土)、同窓生有志12人で奈良東大寺「お水取り」に行ってきた。TVや新聞でお馴染みの「お松明(おたいまつ)」は、下から見上げるものばかり思っていたが、今回は富安さん(時習9)の計らい(案内)で二月堂の中から間近に見ることが出来ました。火(たいまつ)は二月堂の端で一旦止まったあと一気に廊下を走り抜けて行きます。(写真左と中)

見学のあと、近くの日本料理店で楽しく盛り上がりました。(写真右)

利根川 躍



がんばろう！日本 神戸から

「関西支部第 46 回総会・懇親会の報告」～



山村 信哉（時習 17）



平成 24 年度の関西支部総会・懇親会が 6 月 10 日（日）に神戸で開催されました。今回の会場となったのは、日本を代表するリゾート避暑地・六甲山に立地する「六甲山ホテル」です。昭和初期に開業した当時の建物が一部現存し、国の近代化産業遺産にも登録されるなど重厚でクラシカルな雰囲気が漂う、言わずと知れた名門ホテルです。

○「がんばろう！日本 神戸から」を合い言葉に

今でも思い出すたびに恐ろしく、また悲しくなる一昨年の「東日本大震災」。一日も早い復興を願うばかりです。

今回、神戸で総会・懇親会を開催するにあたり、やはり 18 年前の阪神・淡路大震災の悲劇、そして復興ということを意識せざるを得ませんでした。

「阪神・淡路大震災」の悲しい記憶が消えることはありませんが、街の姿は元気な神戸を取り戻しています。その元気な神戸の今を同窓生の皆様にも見ていただきたいというテーマで今回の総会の総会を企画、準備して参りました。

例年、総会の日程が 6 月上旬ということもあり、空模様が心配になります。特に今回は会場が山岳リゾートということで、例年以上に好天を祈る気持ちがありました。そんな気持ちを通じたのか、当日はまずまずの天気にも恵まれました。朝方は雲に覆われていた空も、総会が始まるころには薄日が差し、その後も徐々に青空が広がってきました。

当日は、新神戸駅、JR 六甲駅、阪急六甲駅か

らホテル専用の送迎バスが出ており、出席される方々にはそのバスを利用させていただきました。

麓では既に色を濃くした緑も、バスが坂道を登るにつれて薄くまた鮮やかな色に変わり、ホテルに着くころには美しい新緑が目を楽しませてくれました。そんな中、母校の先生方や本部及び他支部の来賓を含め総勢 80 名余りが参加し、定刻の 12 時に盛大に総会が始まりました。



総会の受付風景

○後輩たちの活躍がうれしい

関西支部の鈴木優理事（時習 26）の司会で総会の幕が開き、いつも通り石川吉之助支部長（時習 12）、大澤輝秀同窓会長（時習 8）、林誉樹校長先生と挨拶が続いたあと、司会者による来賓の方々の紹介がありました。その後、花井俊作会計理事（時習 17）の会計報告、山村信哉監事（時習 17）の監査報告、石川支部長による役員改選案などの説明があり、最後に伊藤忠男事務局長（時習 13）による関西支部の活動報告や今後の計画などの説明があり、総会の前半が終了となりました。総会に出席されなかった皆様のために、挨拶の詳細もご報告したいのですが、紙面の都合上割愛させていただきますこと、ご容赦願います。

ただ、これだけは皆様にも知っていただきたいと思い、林校長先生が話された後輩の活躍ぶりについて簡単ですが紹介させていただきます。

母校がSSH（スーパーサイエンススクール）に指定され輝かしい成果を上げていることや、SSH事業（海外の理数教育重点校との連携）の一環として英国の名門セント・ポールズ校（男子校）と姉妹校提携していることはご存知の方も多いと思いますが、更に平成 23 年 9 月にセント・ポールズ女子校とも姉妹校提携を結んだとのことです。両校とも英国の名門中の名門との定評もあり、今後の交流が楽しみです。

また、勉強ばかりではありません。一昨年の大阪での総会の折には、東大野球部で活躍する鈴木翔太君が話題になりましたが、陸上部も負けていません。既にご存知の方も多いと思いますが、早稲田大学の山本修平君と名古屋大学の鈴木亜由子さんが頑張っています。

山本修平君は昨年、今年と 2 年連続で箱根駅伝に出場し、最も過酷と言われる 5 区でいずれも区間 3 位の好成績を収めています。

鈴木亜由子さんは都道府県女子駅伝の愛知県チームのエース的存在です。やはり昨年、今年と 2 年連続で各県のエースが揃う 1 区を任され、昨年在 2 位、今年が 4 位と好成績を収めています。昨年の国際千葉駅伝でも学生選抜に抜擢され、TV 中継では解説者で元マラソンランナーの増田明美さんから、出身高校が時習館と明かしたうえで、今後の活躍が期待される若手の一人と紹介されたそうです。なお、増田明美さんは伊藤事務局長や奥山真理理事（時習 30）と親しく、時習館のことも良く知っていただいています。

○震災からの復興（記念講演）

今回は、総会のコンセプト「がんばろう！日本

神戸から」に即し、震災からの復興をテーマにした 2 名による講演となりました。

最初に登場いただいたのは、鬼本英太郎さん（時習 27）で、「淡路島で生きる、淡路島から興す」と題して講演されました。



講演する鬼本英太郎さん

皆様ご承知の通り、淡路島北部は 18 年前の阪神・淡路大震災でも特に被害が大きかった地域ですが、鬼本さんは兵庫県の職員として復興に尽力されてきました。震災により大打撃を受けた淡路島の観光業復興の目玉として、兵庫県が主体となって「淡路夢舞台」という一大観光エリアが作られました。鬼本さんは現在その「淡路夢舞台」の責任者として活躍されています。

広大な敷地に公園、野外劇場、国際会議場、ホテルなどがあり、観光の基点として、また滞在型リゾートとしても楽しめる場所のようです。

昨年 4 月に JKL（時習館関西支部女子会）の行事が「淡路夢舞台」で催され、参加された方からとても良いところだったと聞いています。皆様も是非一度行かれることをお勧めします。

次に登場いただいたのが、松井誠一郎さん（時習 26）で、「靴のまち長田の復興と足の健康」と題して講演されました。松井さんは、神戸で整形外科医をされています。神戸市長田区も震災で大きな被害を受けました。当時、繰り返し報道された火災の映像が目に焼き付いている方も多いのではと思います。長田区の主要産業、ケミカルシューズ生産は、震災で一時は再起不能とまで思われたのですが、現在は生産額ベースで 80%まで回復するに至っているそうです。

講演の後半には、靴が及ぼす足の健康の話に移り、お医者様の立場から図解入りで靴選びがいかに大切かの話をされました。



講演する松井誠一郎さん

○美味しい食事、心地よいジャズの音色

特別記念講演が終わり懇親会が始まりました。その頃には皆お腹も空き、喉も渇いてきています。ここからは司会が古田啓子さん（時習 14）と鈴木富美子さん（時習 36）です。まず開会の挨拶と乾杯の音頭を、今回副支部長から顧問に変わられた大石由紀子さん（時習 10）がされ、続いて来賓の方々の挨拶がありました。東京支部の杉井孝事務局長（時習 17）、名古屋支部の神野義郎支部長（時習 11）、同じく名古屋支部の松原秀式副幹事長（時習 24）の順です。挨拶の詳細につきましては割愛させていただきますことご容赦願います。

来賓の方々の挨拶が終了すると同時にジャズの演奏が始まりました。今回の総会・懇親会のもうひとつのコンセプトが「ジャズ発祥の地：神戸でジャズを楽しむ」ということでした。今回の演奏は地元で活躍するプロのジャズバンド「ラフィング・スターズ」でした。途中からは、同窓会員も出演してのコラボレーションです。出演者は特別講演もされました松井誠一郎さんのヴァイオリン、豊橋から駆け付けていただきました福井敬さん（時習 29）のサクソ、そしてヴォーカルは大阪の懇親会でも美声を披露されました藤巻篤子さん（時習 14）です。美しく、心地よいジャズ

の音色が途中の休憩を挟んで続きました。食事もちろん最高です。シェフが腕によりを掛けたフレンチのコース料理。さすが六甲山ホテルと思わせる料理がタイミング良く提供されました。



ジャズを熱唱する藤巻篤子さん

楽しい時間はあっという間に過ぎてしまいます。お決まりの校歌斉唱のアナウンスには、あちらこちらから「もう、そんな時間？」という声が聞こえてきました。時習館の校歌斉唱の後、旧制豊橋中学の校歌斉唱があり、最後に片岡聰子副支部長（時習 14）の閉会の挨拶で総会・懇親会が開きになりました。

○ティールームでの2次会

総会・懇親会は終了しましたが、懐かしい人たちとの会話は尽きません。もっと話したい人たちのために別途2次会の会場が用意されていました。総会出席者の半数近くの方が、落ち着いたティールームで引き続き会話を楽しみました。

楽しい2次会も終わり送迎バスに乗り込むころには、空もすっかり晴れ渡り、初夏の美しい緑が目飛び込んできます。そして、少し火照った頬に当たる微風は、あくまで心地よく爽やかです。

子どもから大人になりかけてた、たった3年間を一緒に過ごしたにすぎない高校時代の同窓生、また先輩や後輩たち。1年に1回会うか会わないかの淡い付き合いだけど、何か温かいものがそこにはあると感じられた一日でした。

京都でお会いしましょう！

平成 25 年度時習館同窓会関西支部総会・懇親会に参加を



時習館創立 120 周年「伝統と創造」を合言葉に 時習魂の心意気を京都東山に轟かそう



関西支部副支部長 石田 天祐（時習 14）



時習館同窓会関西支部では地区を大阪、京都、神戸、奈良の 4 つに分け、各地区持ち回りで、毎年 6 月に総会と懇親会を開催しています。出席者は毎回 80～90 名に及びます。

○日本の古都を歴訪する我が同窓会

この 4 地区というのは、古代、中世の都のあったところで、千年の都である京都はいわずもがな、奈良の平城宮に、大阪は大化の改新のあと、孝徳天皇によって難波の宮都が築かれ、神戸の福原には平清盛が勢威を振った 1,180 年に安徳天皇が一時遷都しました。期せずして、関西支部の会員は総会のたびごとに日本の古都を歴訪していることになり、贅沢この上ありません。

2 年前には平城遷都 1,300 年記念祭に合わせて、奈良ホテルで開催し、観光客で賑わう平城宮跡を見学しました。

また、一昨年は大阪城を臨む結婚式場として有名な太閤閣での開催となり、敷地内の藤田美術館で国宝級美術品を鑑賞しました。

昨年は、神戸の街が一望できる六甲山ホテルで会員有志のジャズ演奏を楽しみました。

○平成 25 年度は京都で開催を計画

今年は京都地区の当番です。時習館創立 120 周年という記念の年に当たります。「伝統と創造」をテーマに、1200 年を超える歴史を誇る古都。伝統の中で新しいことに取り組んでいる京都らしさを意識した企画を盛り込んでいます。

京都市東山区三条蹴上の「ウェスティン都ホテル

ル京都」で開催します。宇治茶が伝わり 800 年、受付では宇治茶の振舞いを受け、懇親会では尺八と琴の演奏を聴く楽しみが待っています。



ウェスティン都ホテル京都の庭園

○オードリー・ヘップバーン滞在のホテルで

この「ウェスティン都ホテル京都」は映画「ローマの休日」のヒロイン役のオードリー・ヘップバーンがファッション・デザイナーのジバンシィとともに来日した際に宿泊した名門ホテルで、3 年前には国際ペンクラブ大会の会場ともなりました。窓外には京都の景観が一望のもとに広がっています。乞う、会員諸氏の多数のご参加を！

健康で長生きして、青春の気を取り戻し、同窓生と再会するのは至上の喜びです。



ウェスティン都ホテル京都の屋上から見た東山



ウェスティン都ホテル京都の外観
美しい古都の町並みが広がる東山に佇む。
京都文化財に登録されている小川治兵衛氏
および小川白揚氏作の庭園は有名

特別寄稿

母校本部よりの便り



特別寄稿



ST PAUL'S GIRLS' SCHOOL

ハンテン木並木から世界へ！



～ 国際交流を通してのグローバル教育 ～

時習館高等学校教諭（国際交流担当） 谷山 渡（時習 23）

初年度から国際交流に携わって、4年が経ちました。3月で定年退職になりますが、やりがいのあるこの仕事に巡り合ったことで、生徒の貴重な体験を見守ることができたと同時に、自分の視野も広げることができました。この交流事業は、私の時習館における教員生活の中で最も印象深いものになっています。

○国際交流事始め

4年前のある日のこと、教頭から日本語の手紙を英訳する依頼を受けました。時習 11 回生の卒業 50 周年記念行事として、イギリスの高校との交換留学を行いたいという内容で、ロンドン郊外にあるセント・ポールズ校校長宛の手紙でした。既に 11 回生の方々が綿密な準備を

されており、予算面でも 11 回生からの寄付金で交流が実施される運びとなりました。

平成 21 年 7 月にセント・ポールズ校から 3 名の生徒と引率の先生 1 名が本校を訪問し、ここに国際交流事業がスタートしました。

平成 22 年 3 月には選抜された 4 名の本校生徒がセント・ポールズ校を訪問しました。英語教員であり、同窓生でもあるということで、私が引率を仰せつかりました。滞在中、最初は緊張していた生徒たちも次第に英国の生活に慣れ、パーティーでは滝廉太郎の「花」を合唱し絶賛を浴びました。密度の濃いロンドンでの生活は、生徒にとって一生の宝物になったことでしょう。

○セレンディピティ

幸運な偶然が重なったとき、物事はよい方向に向かって進みます。英語では、偶然貴重な発見をすることや、掘り出し物を見つける才能を serendipity という言葉で表現しますが、時習館の国際交流はまさにこの言葉に当てはまります。



セント・ポールズ校創始者ジョン・コレットの銅像の前での集合写真



セント・ポールズ校において、本校校長とセント・ポールズ校ハイマスタ（校長）により姉妹協定書に署名

平成 21 年に、鳥山勇校長の後任として、林誉樹校長が着任しました。林校長は日本の国際化に強い関心があり、本校の教育目標にある「国

際人としての資質を持った人間を育成する」を
実践するのに、この交流事業を継続することが
うってつけであると考え、同窓会が始めた国際
交流事業を、PTA の予算面での協力を得て学校
行事と位置づけました。林校長の行動力がこの
事業を推進する大きな原動力になっています。

セント・ポールズ校での交流を担当されたポ
ール・コリンソン先生は、若いころ英語指導助
手として日本に滞在経験があり、日本に深い理
解があります。

また、平成 22 年度に 4 名の生徒を引率して
来日したケン・ゼッティー先生はアウト・ドア
派で、山岳部顧問である私ととても気が合いま
した。

彼の来日初日、奥三河の山に登り、山頂でお
にぎりを食べ、豊川稲荷にも参拝しました。

彼の専門は物理学なのですが、学校では哲学
も担当しており、話をする中で彼の博識に驚嘆
させられることがしばしばありました。

私の家にホームステイしてもらい、毎晩酒を
酌み交わすことで（彼は日本酒ファンです）親
交を深めることもできました。また、日本の大
衆文化に触れてもらうために、居酒屋や焼鳥屋、
ラーメン屋にも連れて行きました。



セント・ポールズ校との交流は、様々な幸運
に支えられ進展してきました。平成 22 年度に
姉妹校提携が実現したのは、この 2 名の先生が
時習館に対して好印象を持ち、提携が両校にと
って価値のあるものだと考えてくれた結果だと思
います。

○さらなる飛躍

時習館は平成 20 年度から、スーパーサイエ

ンス・ハイスクール(SSH)の指定を受けていま
す。平成 23 年度 SSH 事業の一環で「日英高校
生による科学技術に関する合同研究発表会」を、
平成 24 年 3 月にセント・ポールズ校で開催す
ることができました。これはセント・ポールズ
校の理科主任であるケン・ゼッティー先生の協
力があってこそ実現できた行事でした。

平成 23 年度にはセント・ポールズ女子校と
の姉妹校提携、平成 24 年度にはセント・ポー
ルズ校のドイツにおける姉妹校、オットー・フ
ォン・タウベ・ギムナジウム校との姉妹校提携と、



本校は英・独 3 校との姉妹校提携を結びました。

平成 25 年 3 月には 12 名の時習生が、交換留
学生としてそれぞれの高校に短期留学をします。
またセント・ポールズ校での研究発表会もほぼ
同時期に開催され、6 名の時習生が発表を行
います。

○国際交流の将来

現在まで時習館の国際交流は順調に進んでい
ます。この事業をより発展させていくためには、
相互信頼に基づいた人間関係を築くことが大切
です。時習館の関係者が、何らかの形で海外の
先生方と関わりを持てば、広範囲な信頼が生ま
れます。

生徒が世界に対して開かれた視野を持つため
に、学校は何ができるのかを考えて、組織とし
てのバックアップ体制を作らなければなりません。
生徒が異文化に触れる機会を多く持つこと
で、世界に羽ばたく時習生が輩出されることを
望んでいます。

国際交流年表

《平成 21 年度》

7 月 2 日～10 日 時習館 11 回卒業生の 50 周年記念事業としてセント・ポールズ校から生徒 3 名と引率教員 1 名が来日し、時習館を訪問

3 月 21 日～31 日 生徒 4 名と引率教員 1 名が、セント・ポールズ校を訪問

《平成 22 年度》

10 月 23 日～29 日 セント・ポールズ校から生徒 3 名と引率教員 1 名が来日し、時習館を訪問

1 月 24 日 セント・ポールズ校において、姉妹校提携が結ばれる

3 月 12 日～20 日 生徒 5 名と引率教員 1 名が、セント・ポールズ校を訪問

《平成 23 年度》

9 月 28 日 セント・ポールズ女子校において、姉妹校提携が結ばれる

10 月 15 日～22 日 セント・ポールズ校から生徒 4 名、セント・ポールズ女子校から生徒 4 名と引率教員 3 名が来日し、時習館を訪問

3 月 2 日～11 日 生徒 4 名と引率教員 1 名が、セント・ポールズ女子校を訪問

3 月 5 日～11 日 コア SSH 事業として、本校生徒 17 名を中心に、愛知県下の高校生 57 名が英国を訪問し「日英高校生による科学技術に関する合同研究発表会」に参加する

《平成 24 年度》

7 月 13 日 林校長がオットー・フォン・タウベ校を訪問し、11 月に姉妹校提携を結ぶことで合意

7 月 17 日～18 日 日米教育委員会が主催する「キズナプロジェクト」により、アラスカの高校から生徒 11 名と引率教員 1 名が本校を訪問

10 月 20 日～27 日 セント・ポールズ校から生徒 4 名、セント・ポールズ女子校から生徒 4 名と引率教員 3 名が来日し、時習館を訪問

11 月 27 日 オットー・フォン・タウベ校において、姉妹校提携が結ばれる

3 月 5 日～12 日 コア SSH 事業として、本校生徒 6 名を中心に、愛知県下の高校生 31 名が英国を訪問し「日英独高校生による科学技術に関する合同研究発表会」に参加する

3 月 9 日～17 日 生徒 8 名と引率教員 1 名が、セント・ポールズ校・セント・ポールズ女子校を訪問

3 月 9 日～17 日 生徒 4 名と引率教員 1 名が、オットー・フォン・タウベ校を訪問



特別寄稿



時習館創立 120 周年記念事業
時習館同窓会本部
120 周年実行委員会総務部 安田直樹 (時 38)

本年平成 25 年は、時習館高校の創立 120 周年に当たります。その記念事業の開催に向けて、2 年ほど前から準備委員会を立ち上げ、定期的に打ち合わせを進めてきました。現在は実行委員会となり、学校・PTA・同窓会が協力して準備を進めています。同窓会からは、創立 110 周年以降に卒業 25 周年を迎えた時習 32 回生から 40 回生が中心となり、「事業部」「式典部」「総務部」の 3 部会と「文化財専門部」の専門部会に分かれて検討を進めています。

「事業部」では、記念式典後に行うフォーラムの開催、ポセイドン像の塗り直し、豊中正門の保護、を担当します。フォーラムは、過去の周年事



豊中正門の保護工事

業にない新しい企画として、各世代の同窓生や関係者の方 30 名程に講師をお願いし、時習館高校の教室で講演を行っていただきます。現在、時習 15 回から 40 回の学年代表の方々に、講師選任のお願いをしています。ご協力よろしくお願ひします。

ポセイドン像の塗り直し、豊中正門の保護については既に実施済みで、記念式典当日に除幕式を行います。

「式典部」では、平成 25 年 10 月 27 日 (日) に開催される記念式典の企画運営を担当します。式典の中では、4 月から新しくなる制服のお披露目をする予定です。また開催日は違いますが、生徒向け記念講演会の支援も担当します。

「総務部」では、同窓会名簿の発刊、記念誌の発行、広報活動を担当します。また記念式典・フォーラム後に行う交流会の運営を担当します。

「文化財専門部」では、時習館高校内にある文化財の保護 (保全・修理・図録化・展示) を行います。

このように 120 周年記念事業の準備は進められています。関西支部会員の皆様方におかれましても、記念事業へのご賛同と、多くの方の記念式典・フォーラム・交流会へのご出席をお願いいたします。



塗り直したポセイドン像

特集記事

最先端で活躍する同窓生



特集記事



私の研究生活

島本 功 (時習 20)



2012 年秋の褒章で、島本功先端科学技術大学バイオサイエンス研究科教授が紫綬褒章を受章されました
(編集委員会)

私は豊橋市の中部中学校の出身で、子ども時代は向山町に住んでいました。時習館では応援団に入り、また吹奏楽団(時習オーケストラとも呼んでいた)でフルートを吹いていました。2年生の時には生徒会長もやりました。現役の時には東大の受験に落ち、浪人後、今度こそはと思っていた時に東大入試が中止になり、京大に行くことにしました。この年の京大には、全国から、特に関東からも多くの学生が来ていました。ただし学生運動の最も激しかった年で、入学後も授業はずっとなく、大学に行かない、授業に出ないという習慣はこの時に身につけてしまったかもしれません。大学近くのジャズを聴かせる喫茶店に入り浸る毎日でした。農学部では小麦の遺伝学で有名だった遺伝学教室に入ろうとしましたが、まったく勉強をせずに大学院入試を受けたところ簡単に落ちてしまいました。次の年はそれなりに準備をして受験し無事合格しました。

○アメリカ留学からヨーロッパへ

大学院に入学はしましたが、小麦の遺伝学研究は毎年同じことを何十年もやっているということが分かり、興味を持たず、指導教官にアメリカ留学を願い出ました。ちょうどその年に文部省が特別研究生として大学院生を1年間外国の大学に派遣するという制度が始まり、京大と交換協定を結んでいるアメリカのウイスコンシン大学に行く学生を募集しており私も申請しました。最初は成績優秀な学生が多く志望しており、私には順番が回ってこないと思っていたところ、卒業が1年遅れるということが分かり、いつのまにか私は3番目の学生ということでアメリカへ留学することになりました。ウイスコンシン大学はアメリカで有数の遺伝学の研究の盛んなところで(実は行

ってから気がつきました)、当時、植物の遺伝学では最も進んでいたトウモロコシの遺伝学で有名な Oliver Nelson 教授の研究室に行くことになりました。5年半在籍した Nelson 教授の研究室では、ほとんど休みなく遺伝学の勉強と実験に励みました。また、遺伝学の基礎を教わったのみならず、研究者としての考え方や研究の厳しさも学ぶことができました。アメリカ生活は自分の人生においても最も重要な期間となりました。

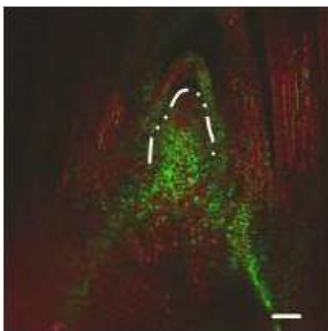
ウイスコンシン大学で学位を取った後、今度はヨーロッパを見てやろうと思い、スキーのメッカであるスイスで研究することにしました。アイガーで有名なグリンデルワルドへ数時間で行けるバーゼルにある研究所で博士研究員をやることになりました。ヨーロッパの研究室はアメリカの研究室とは大分違い、世界中から研究者が集まって来ており、研究スタイルもいろいろあることを学びました。3年間、研究、スキー、旅行に明け暮れる素晴らしい生活でした。3年間のスイスの研究を終え帰国し、当時バイオテクノロジーに興味を持ち始めた三菱化成で植物バイオの研究をやることになりました。ここでの研究がその後30年続けてきたイネの分子生物学研究の発端となりました。

○植物の遺伝子研究…花を咲かせる仕組み

11年間三菱で植物分子生物学を研究し、その間に、植物の遺伝子に関する様々な研究を行いました。その中で最も重要な研究は、世界で初めて重要な穀類であるイネに遺伝子を導入する方法を見つけたことです。2004年に奈良に国立の大学院だけの大学ができるということで関西に戻ってきました。赴任した大学は奈良先端科学技術大学院大学(略して奈良先端大と呼ばれます)とい

う長い名前の大学で、バイオサイエンス、情報科学（主にコンピューター）、物質科学（新材料など）の3つの領域での研究教育を行っています。大学院生からなる大学です。数年前には、政府機関の調査により、国内で最も優れた大学として評価されましたが、大学院だけということであり一般にはあまりなじみのない大学ですが、昨年京都大学の山中伸弥教授がiPS細胞の発見でノーベル賞を受賞され、その基盤となった研究を始めた大学として少し知られるようになりました。

奈良先端大に来てから主にイネを用いて「花の咲くしくみ」と「植物が病気に打ち勝つしくみ」について、遺伝子の働きに注目して研究を行ってきました。ここで「花の咲くしくみ」の研究について少し説明します。古今東西、植物の花は人々に愛され我々の生活とは切り離さすことができません。特に日本では四季にわたり様々な花が咲き、我々は花に囲まれて生活しています。では植物はどうやって花を咲かせるのでしょうか？この単純な問題に対する答えを最近私は出すことができました。花を咲かせるホルモン（フロリゲンあるいは花成ホルモンと呼ばれる）がどの花にも存在し、そのホルモンは葉で作られ、花芽のできる茎の先端に運ばれ、そこで花芽をつける。こうした考えは75年ほど前ロシアの植物学者によって提唱されましたが、長年にわたって世界の植物学者が様々な方法を用いてこの謎の物質を見つけようとしてきましたが見つかりませんでした。



Hd3a::GFPタンパク質は白線で囲った茎頂分裂組織やその下部の維管束組織と茎頂分裂組織を囲む葉の部分で観察される

図1 レーザー蛍光顕微鏡により茎頂分裂組織におけるフロリゲンの観察

私の研究グループは20年ほど前からイネを使って花の咲くしくみを研究してきており、Hd3aというイネの遺伝子の作るタンパク質がフロリゲンの実体ではないかと予想しました。そこで、

この遺伝子に植物体内で光る蛍光タンパク質を融合させイネに入れてやりました。するとこの合成遺伝子を持ったイネは極端に早く花を咲かせ（10 cm程度のイネにも花がつけました）、また光るHd3aタンパク質は茎の先端部できれいに蛍光を発しました＝図1を参照。

こうした結果をもとに、このHd3aタンパク質こそが長い間植物学の謎であったフロリゲン（花成ホルモン）の実体であることが明らかになりました＝図2を参照。

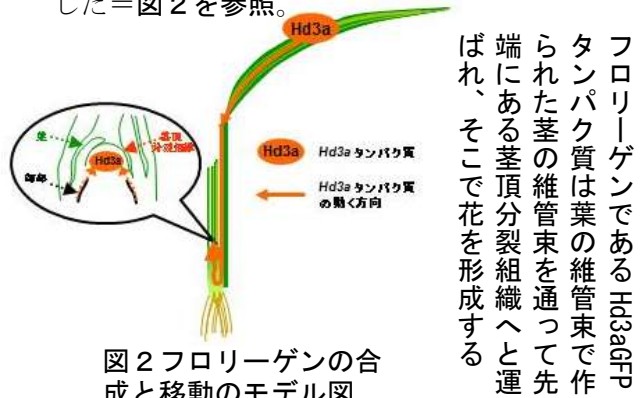


図2 フロリゲンの合成と移動のモデル図

フロリゲンであるHd3aGFPタンパク質は葉の維管束で作られた茎の維管束を通じて先端にある茎頂分裂組織へと運ばれ、そこで花を形成する

この研究成果は2007年にアメリカの科学誌『サイエンス』に掲載され世界中で大きなインパクトを与えました。

○将来、花咲かじいさんが現実に

このフロリゲンの発見はイネだけでなく他の植物でも続いて行われ、現在では通説になりました。今年改訂された新しい高校生物の教科書には私たちの撮った光るフロリゲンの写真が一部では使われています。その後このフロリゲンがいかにかに花を咲かせるかという詳しいしくみや、茎の先端で葉から送られてきたフロリゲンをとらえる受容体を明らかにしました。また驚いたことに、イネのフロリゲン遺伝子をジャガイモに入れたところジャガイモに多数のイモができ花成ホルモンは実は花を作るだけでなく、イモや葉を作るためにも働いていることが最近明らかになってきました。現在私の研究グループでは花の咲くしくみの研究だけでなく、人工フロリゲンの開発やフロリゲンによる植物改良の基礎研究も始めています。将来は花咲かじいさんの灰のように、さっとふりかけるだけで花を咲かせるようなことも不可能ではないかもしれません。

特集記事



出会いこそ人生

岡田 行功 (時習 20)



昭和 43 年 (1968 年) に時習館を卒業して三重県立大学医学部に入学し、昭和 49 年 (1974 年) に三重大学医学部を卒業、学生時代から指導を受けた野球部部長そして胸部外科 (心臓と肺の外科) の教授であった久保先生の医局に入った。当時は心臓外科の対象となったのは先天性疾患とリウマチ性弁膜症であり、狭心症、心筋梗塞などの冠動脈外科は登場したところであった。

昭和 52 年 (1977 年) に時習館の同窓生である博子と結婚し、兵庫県豊岡市、三重県津市、鈴鹿市と転居したが、大学院で心筋保護の研究—手術中に心筋を傷めないように管理する方法—を終了して昭和 56 年 (1981 年) 5 月に神戸市立中央市民病院に赴任した。



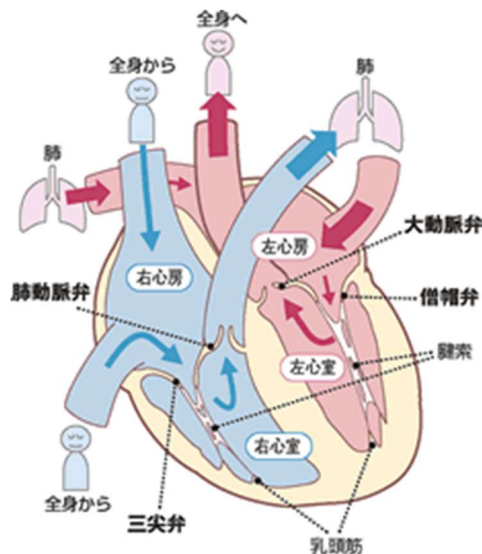
手術現場イメージ画像

○鮎釣り、スキー

神戸に来て仕事の他に夢中になったのは二つあり、一つは夏の鮎釣り、もう一つは冬のスキーであった。6 月になると小児循環器の先生たちと鮎釣りの話で盛り上がり、年に数回一緒に出かけた。3~4 年で竿、仕掛けを自前でそろえて頻繁に出かけるようになり、テリトリーは兵庫県のみならず、近隣の滋賀、福井、徳島、和歌山、奈良まで広がった。スキーは胸部外科の中でインストラクター的存在の後輩がいて毎年スキーバスを手配し、医局・看護師で楽しめる時間をつくって

いた。小生の子どもたちも小学生になり、循環器内科の先生家族と毎年妙高に年末スキー旅行を楽しむようになった。

○最近の医学進歩と命



心臓弁膜と血液の流れ (イメージ図)

こうして 40 歳手前まで胸部外科医としての仕事と余暇の時間を大いに楽しんだが、1988 年に第 5 回僧帽弁ワークショップという、当時わけのわからない会議 (サンディエゴ) に参加して手術のライブ映像、そしてブタの心臓を用いた外科手術手技のトレーニングを初めて経験した。ショックであった。手術成績が安定していなかった当時の日本と比べ、ライブで手術を見せてブタの心臓で手術手技をトレーニングする企画には興奮した。このときのディレクターが Duran 先生、Oury 先生であり、その後、最近にいたるまで毎年 Rocky Mountain Symposium に参加して交流を続けてきた。サンディエゴから帰国すると病院で僧帽弁逆流による心不全患者が挿管されて外科治療を待っており、さっそくサンディエゴで修練した手術を行うこととなった。この患者さんは

25 年経過した現在も健在である。Duran 先生、Oury 先生は世界から多くの著名な外科医、内科医を米国モンタナ州ミズーラに招請し、彼らの技術、考え方を紹介し、参加者は友好的な雰囲気の中で多くの医師と知り合いになって楽しい 3 日間を送ることができた。クリーブランドクリニックの Stewart 先生もそのうちの一人であり、サンディエゴから帰国した直後の第 1 例目の経緯を話すと、「岡田、それは運命だよ。これが君の一生の仕事だから頑張らなさい」といわれたことは忘れられない。

○新しい医療現場

その後、心臓の弁膜症の外科治療に関して 20 年余り継続して世界の学会、研究会に出席することとなったが、どこでも諸外国の友人と楽しく時間を過ごすことができるようになった。写真はカナディアンロッキーを妻と一緒に訪れて乗馬を楽しんだ時のものである。



カナディアンロッキーでの颯爽とした乗馬姿

これまで仕事を通じて欧米・アジアの多くの人々との出会いがあり、文化的・経済的背景によって医療事情が異なることも知った。多くの友人に支えられながら心臓外科医として充実した生活を送ることができた。



二年前の神戸で
の学会にて（心臓
外科医との記念
写真）



昨年東京で開催した研究会での記念写真（欧米と日本の仲間）

○みどり病院で心臓弁膜症センターを立ち上げる

リタイアの時期となり、平成 25 年 3 月末をもって 32 年間在籍していた神戸市立医療センター中央市民病院心臓血管外科を退職して、神戸市西区のみどり病院に移ることになった。これからは新しい医療現場でライフワークの仕事を継続して行くことになる。

これまでの友人を大切にしながら新たな出会いも楽しみたいと思っている。みどり病院では心臓弁膜症センターを立ち上げ、そのセンター長として院長の室生君と共に高齢者弁膜症の診断、治療を引き続き行っていくことになった。

神戸市立医療センター中央市民病院では多くの患者さんと出会うことができ、その治療成果を世界に発信してきた。その中で知り合うことができたアジア、ヨーロッパ、米国の多くの友人と楽しい交流が続いている。



昨年、タイで行われたカンファレンス後の懇親会（欧州、オーストラリア、アジア、日本の心臓外科医）

また、数年前から女房とゴルフをするようになった。一緒にプレイするのは年に 2 - 3 回だが、女房は友だちと 1 カ月に一度程度のラウンドを楽しんでいる。小生も少し余裕のある病院に移るので体調の維持のために月 1 - 2 回のラウンドができればと考えている。春になって気候も良くなってきたので、練習場に行って気分転換でもしようかなと思っている今日このごろである。

特集記事



時習館卒業後のことなど
～CO₂削減の可能性評価の研究に～



松岡 譲 (時習 21)



私は昭和 44 年の 3 月に時習館高校を卒業し、その 4 月から京都に来ました。その後、数回、関西を離れることはありましたが、それ以外はほとんど京都におりましたから、もう 40 年以上にもなります。このたび伊藤忠男さんから、何かを寄稿するように言われましたので、自己紹介のつもりで、この間のことを中心に書かせていただきご依頼に替えたいと思います。

○東大安田講堂事件で京都へ

時習館高校を卒業した昭和 44 年頃は大学紛争がピークを迎えた時期で、この年の 1 月半ばには東大安田講堂事件などもあり、東大は入試を中止しました。ここを受けようと思っていた私にとっては、入学者決定をどんな方法とするかのウワサが飛び交ったこともあってその都度、一喜一憂しましたが、結局、入学者を取らないことになったので、京大を受けることにし受験のため 3 月に京都に来ました。これが京都との付き合いの始まりです。



進路を京都に決めるきっかけとなった東大安田講堂事件。1969 年初頭のこと

大学はハプニングの連続でした。入学試験ですが、前日までどこが会場か教えてくれませんでした。中には、当日朝に集まる場所だけ指定され、そこへ行ったらバスに乗せられ某所へ連れていかれてテストを受けた人たちもいましたが、私の場合は、前日夕刻に、宇治にあった大学付属の工業教員養成所へ集まるよう掲示があったので、どうにかして行き方を探し、当日朝起きてみたら、猛雪と電車事故のため京阪電鉄が不通で、会場ま

で辿りつくのにひどい苦労しました。



京都吉田キャンパス近く、当時の百万円交差点 (昔)

京都市内に泊まっていた私はそれでも時間までに辿りつけましたが、場所によっては試験開始後、何時間も遅れた人もおり、試験スケジュールもかなり変更された記憶があります。

4 月になって入学式のため、京大時計台がある建物に集められました。何か起こるのではないかと集まってきたテレビカメラやマスコミと、新入生である私たちが窓ガラスや窓枠は殆ど壊された部屋でワイワイしていると、「入学式中止」の幕が出され、何のことかわからないまま、解散になりました。授業は次の日から始まりましたが、様々な手で妨害が行われ、始めの数週間を除けば、何やかやで授業が出来ない状況が 3 年生頃まで続きました。学部卒業後、私は大学院に進学しましたが、世の中の景気を反映し就職は売り手市場で、東京へ会社訪問旅行をしたら交通費や日当の二重取りで大金を稼いだ話も、たくさんありました。

○衛生工学と環境工学

私が入った学科は、工学部衛生工学科と言うところですが、特にこれがしたいと言うわけでもなく、実家が水道屋をしていたため、何かにかじつけるとしたなら、まあ、土木で、さらに京大では、水道は衛生工学科が担当しているとのことで入ったわけです。ここで、若干、宣伝じみた解説をしますと、衛生工学科というのは、上下水道や廃棄物処理を中心に公害の技術的対策などを担当する学科で、半分は土木的なことを残りは工業化学や公衆衛生に関連することを教えたり研究したりする学科で、私が入学した昭和 44 年は、土木

の入試区分で入った学生を入学後に割り振って
いました。同様の学科としては北大の衛生工学、
東大の都市工学があり、他の大学では、土木工学
の中の幾つかの研究室が同様の仕事を担当して
います。ただ、「衛生工学 (Sanitary Engineering)」
というのは、高校生に印象が良くなく、「環境工
学 (Environmental Engineering)」のほうが聞こ
えが良いとのことで、私のところを含め「環境工
学」に改名していますので、現在、学科名として
の衛生工学科は日本には残っていません。同様の
ことは、土木工学科もそうで、現在でも土木工学
科を名乗っている大学は 10 校程度でしょうか。
京都大学の場合、このことと大学学部を土木工学
科とか衛生工学科とかに細かく分けるよりも、大
括りにして効率よく教えろ、とのことで、平成 8
年からこれらを一括し、地球工学科とし私が出た
衛生工学科は、地球工学科環境工学コースとい
うことになりました。現在のところ京大地球工学科
環境工学コースは、学生数が一学年で 40 人程度、
研究室の数は 12 あります。この種のグループと
しては、我が国では最大勢力ですが、世界的には
例えば中国の清華大学 (中国トップの理工科大学)
にはかないません。学生数も教員数も資金額でも
倍以上です。

○名古屋大学へ…環境問題に取り組む

私は、昭和 51 年に博士課程を中退しこのグル
ープの教員として奉職しました。所属した研究室
(このグループでは、教授 1 名、助教授 1 名、助
手 1~2 名で研究室を構成) は、水道工学講座と
言うところで文字通り上水道整備に関すること
を対象としました。助教授までおりましたが、引
いてくれる人がおまして、平成 7 年に名古屋大
学工学部に転勤しました。



2008 年第 21 回名古屋
支部総会において、私
が「地球温暖化に関す
る」講演を中心とした
講演等を中心とした

京大時代から水道工学以外に、地球温暖化など
の研究もしておりましたが、名古屋大学では、も
っぱら、その方面を中心に広く環境問題の研究室

(環境システム講座)を担当しました。京大時代
は、教えを受けた先生がいっぱい在職しておられ
たのに比べ、名古屋大学ではそうしたシガラミが
なく、のびのびとしました。授業に行くと三河の
アクセントを持つ学生が何人かおりそのことを
指摘すると、なんでわかったのか不思議な顔をす
るのが印象的でした。また、時習館高校、同窓会
名古屋支部、時習館出身の県会議員の方の集まり
などに呼んでいただいたり、時習館との繋がりを
強く感じました。

○今後は…地球温暖化の抑制のために

実家が豊橋にあり名大には弟もいるなど、名古
屋に居続けるのも悪くないと思っていましたが、
京大に帰るように言われ、平成 9 年から元の学科
に戻りました。担当した研究室は、水道ではなく、
地球環境を担当する大気・熱環境工学研究室と言
う名称の研究室です。新設研究室で、最初の 1 年
は、部屋と調度品の準備、研究装置の整備、准教
授・助教や秘書さんの求人などで精いっぱいでした。
ここが現在まで居るところです。



現在研究室のあ
る京都大学桂キ
ャ
ンパス C 塔

行っている研究内容は、地球温暖化の抑制対策
を中心に計算機を使用した定量的な政策評価な
どです。名大にいるころは、地球温暖化京都会議
などもあって、関連する国際機関、役所・機関の
要望などを考慮しながら削減の技術的可能性や
経済影響などの計算を行い、その結果を関与する
諸機関で使っていただいていた。現在も同様な
ことを続けており、特に中国、インド、インド
ネシア、マレーシア、ベトナム、カンボジアなど
のアジアの諸地域を対象とした活動を行っています。

研究室メンバーの半数程度がこれらの国々の
関連省庁や研究機関出身の人々で、研究上お付き
合いする人もほとんどがこれらの国々の方です
が、中には、例えば、豊橋技科大で勉強し時習館
付近や南栄付近のことに大変詳しい人も現れ、ど
こで繋がっているかわからないものだなあ、実感
しております。(2013 年 3 月 16 日)

特集記事



『最強ドリル vs. 最強金属』



大沢 二郎 (時習 40)

○どんなものにも穴を開けられることのできるドリルと絶対に穴の開かない金属

矛盾する二つのものを対決させるフジテレビ系『ほこ×たて』という番組、なかでも看板対決に『どんなものにも穴を開けられることのできるドリル vs. 絶対に穴の開かない金属』がある。そんな TV 番組に 2011 年 10 月、そして 2012 年 4 月と出演した。

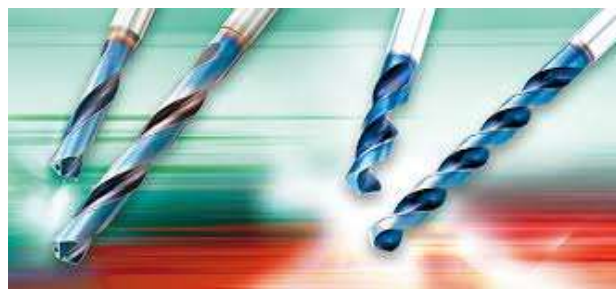


豊川市本野ケ原にあるオーエスジー株式会社本社

○ドリル作りに没頭

私の勤務している会社は、本社を愛知県豊川市に置くオーエスジー株式会社という、主に金属および非鉄金属を切削加工するための工具を製造販売している会社である。その中で私は設計・開発部門を担当している。切削工具は一般消費財と異なり、生産財に当たるため普段生活している分にはお目にかかることはない。その製品のひとつ、金属に穴を開けるための工具、いわゆるドリルと

いう製品でもってこの番組の対決に挑んだ。



弊社自慢のドリル

この対決は我々が対戦するまで『最強金属』を擁する日本タングステンの中川内氏に 3 社が挑んだが、いずれも敗北を喫していた。そんな中、弊社の企画部よりフジテレビに挑戦状を送られ、我々が対決することとなった。

○1 回目の対戦 2011 年 10 月放送

我々の対戦が決まったのが 2011 年 9 月 8 日。番組プロデューサーが弊社を訪れ、オーエスジーがどういった会社なのかを調査をしに来ると言うのが当初の名目で、私と番組に出演予定の 3 人の開発者と打ち合わせを行った。元来、技術者というのは口数が少ない。弊社の 3 人も同じだが、私はどちらかといえばよくしゃべる方 (笑)。一人で会社紹介や製品の強みなどを話していたところ、番組プロデューサーから、「大沢さん、大沢さんが出演してください。いや、大沢さんでお願いします!」と、あっという間に調査を飛び越えて対戦が決定してしまった。実際、出演を受けるまでには様々な葛藤があり、「負けると会社の

看板に傷がつく」や「二郎さんが負けたら何を言われるかわかりませんか？」と周囲ではネガティブな助言や意見が多かったが、負けず嫌いの私は出演を決めた。

我々の仕事で全く得体の知れない材料に穴を開けなくてはならないという依頼はない。お客さんの方から材料の情報や形状、精度などの情報が与えられ、それに適したドリルを提供するといったのが普通である。しかし『ほこ×たて』での対決では、得体の知れない材料に穴を開けなくてはならなかったのだ。しかも 9 月 8 日に出演が決定し、対決撮影は 9 月 26 日に行うという強行スケジュールであった。すぐに今までの対戦をビデオでチェックし、日本タングステンの製品情報をホームページでチェックをした上で、対戦するであろう『最強金属』の予想を立てた。その上でこの『最強金属』に穴を開けることのできる『最強ドリル』の仕様を決めた。

対戦の日はあっという間にやって来た。過去 3 回の対戦をすべて圧倒的に勝利し、弊社に乗り込んできた『最強金属』を擁する日本タングステンの中川内氏。番組の恒例で名刺交換をした後、対戦する前に『最強金属』を手を取ったが、我々が予想した金属にかなり近い比重であると感じた。それでも穴を開けることができる、という確信からはほど遠かった。ドリルと金属が工作機械に設置され、勝負が開始された。開始して間もなく、ドリルが金属に食いつき、穴を開け始めたが、4、5 分もすると加工音が大きく変わった。あまりにも加工音、そして機械の様子に変化があったため、一度止めて金属を見ると金属側が中心から放射状に破壊していた。これでは番組にならないと判断されたため、もう一度勝負を行うこととなったが、「次の対決で穴が開かず、材料が割れるようなことになったら金属側の勝ちとさせていただきます」とプロデューサーから話があった。

「お客さんが欲しいのは穴であって、ドリルではない。穴が開かなかったら我々の負けで結構です」と告げ、プロデューサーの決定事項を呑んだ

上で 2 回目の対決がスタートした。

しかし、2 回目の対決でも同様に材料が割れ、我々の負けとなった…はずが…。

「今回の対戦は、穴は開かなかったが、材料も割れてしまったため、引き分け再戦と致します！」



材料（左）を割り、引き分けに持ち込んだドリル

こうして『ほこ×たて』番組史上初の引き分け再戦が決定した。

○ 2 回目の対戦 2012 年 4 月放送

前回は明らかに情報不足であったし、時間もなかった。しかし今回は前回使用したドリルがある。使用したドリルを多方面から分析、前回なぜダメだったのか？なぜ材料が割れてしまったのか？穴を開けるためのヒントはそこに隠されていると判断し、その対策をドリルの仕様に織り込む。前回は明らかにドリルが穴を開ける際の負荷が大きかったことから、ドリルは抵抗を下げる形状とし、さらにドリルだけではなく、穴を開けるプログラム（ドリルが動く軌跡）にも仕掛けをした。これで穴が開かなかったらしょうがないといったところまで追求した。

しかし不安は消えることはなかった。我々の業界では万能なドリルというものは存在しない。ジャンケンのようなものだ。金属を根本的に変更されたら勝ち目はない。

そして 2 回目の対決がやってきた。番組の冒頭恒例の握手をし、2 回目の『最強金属』との対面に臨んだ。見たところ大きな変更をしてきた様子はなかった。これならイけるかも？という安易な

期待が頭をよぎる中、対決がスタートした。

2 回目の対決の撮影風景



今回は我々が新たに生み出した最強金属に穴を開けるためのプログラムが順調に機能し、10ミリまで問題なく穴を開けていった。時間とともにそれは15ミリに達し、あと5ミリというところまで来たところで、加工付近が一瞬ピカッと光った。それでも機械はプログラム通り加工を行い、貫通するところまで行って機械は止まった。

○開いたのか？

モノを見るまでは判断が出来なかった。最終結果を見る前にプロデューサーから機械に背中を向けるように言われ、合図を待った。合図と同時に振り返り、『最強金属』を見た。表側から見ると穴が開いていたが、穴は貫通していなかった。金属の厚みは20ミリあったのだが、残すところ3ミリであった。

『最強金属』
惜しくも貫通しなかった



残念ながら勝負には負けたものの、充実感があった。終わってみればもう少し違った方法があったと思う部分もあるが、後の祭りである。2013年1月1日にこの対決の6戦目が行われたが、またも『最強金属』に軍配が上がった。チャンスが与えられるのであれば、再挑戦して次こそは穴を開けてみたい。



互いに健闘を称えあう

「ほこ×たて」出演時の「最強の金属×最強のドリル」対決対戦相手の日本タングステンの中川内氏と筆者（右側）



私の一枚

2012年第26回全日本社会人テニス選手権大会優勝時のスナップ

特別投稿

常に挑戦する気持ちで



特別投稿



健康で美味しい笑顔の輪

～金トビ志賀の目指す道～



志賀 重介 (時習 29)



○原点は水車小屋の手間をかけた丁寧な仕事

金トビ志賀は 95 年前の大正 6 年に創業しました。創業者の志賀八五郎は、西尾の矢作古川にあった水車小屋で修行したあと蒲郡で創業し、農家が八八車を持ち込む小麦を石臼で挽いていました。石臼からロール式製粉機に変わった現在でも、風味の良い小麦粉を挽くために石臼挽きに学んだ丁寧な仕事を心がけています。当社は全国でも珍しい麺用小麦粉専門の製粉会社であり、また原料から一貫生産される『金トビめん』のメーカーとして、三河の地で長い間商売させていただいています。



麺用小麦粉専用の製粉会社として

○良いうどん粉とは

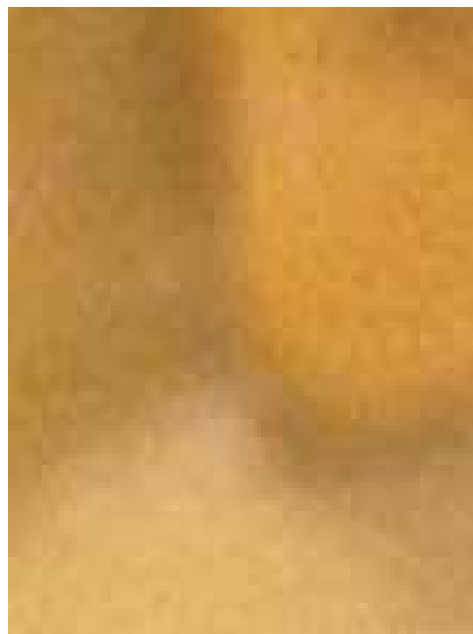
私どもが考える高品質のうどん用粉とは、①小麦本来の風味があり②小麦タンパクのしなやかな弾力を感じられ③食欲をそそる自然の色つやがある小麦粉です。また、手打ちうどんの職人からは、作りやすく、品質が安定していることを常に求められてきました。やさしく、ゆっくりと

丁寧に挽く当社独自の小麦粉は、小麦本来の薫りが際立ち、麺にしたときの食感と作業性に優れていることから、県内外の有名手打ちうどん店に永年愛用されています。

○麺そのものに味がある乾麺をめざして

乾麺に求められる品質には、保存性、簡便性、風味などがあります。そのために自社で製粉し、いつも挽きたての小麦粉で造り、麺そのものに小麦本来の風味が生きています。金トビめん 1 袋は、1 万 2 千粒の小麦が原料です。安全安心の品質と美味しさが評価され、県下及び東海・関東エリアの主要スーパーマーケット、百貨店で取り扱われるとともに、北海道から沖縄まで全国各地のお客様に通信販売でお届けしています。

○金トビめんと有名味噌煮込み店のコラボレーション



乾麺で味噌煮込みうどんセットを開発

小麦粉のお客様である名古屋の老舗味噌煮込みうどん店から相談を受けて、日持ちのする乾麺で味噌煮込みうどんセットを開発することになりました。満を持して老舗が出すからには、従来からある味噌煮込みを超える品質にこだわりたいとの要望でした。味噌煮込みうどんは塩分のある味噌出汁で煮込むため、麺自体に塩をほとんど加えません。浸透圧がなく麺の中に茹で湯が浸み込みにくいため、まず麺肌がとろけ、味噌とまじりあって独特のとろみが出ます。土鍋の発する遠赤外線が、食べている間にゆっくりと芯まで熱を伝えます。味噌出汁に浸かっている小麦本来の風味を感じられる所以です。

○試食試験を繰り返して発売へ

今回の開発の目的は、老舗が守り伝えてきた風味と食感のエッセンスが手軽にご家庭で楽しむことです。そのために原料小麦粉、塩度、混捏、圧延、麺の幅と厚み、乾燥工程のすべてを見直しました。乾麺としては特殊な製麺法を採用し、お客様と共に試食試験をくり返して合格をいただきました。この味噌煮込みうどんセットは大変好評で、販売場所も店頭、高速道サービスエリア、名古屋駅のキヨスク、セントレア空港と広がり、

本物を求めるお客様に強いご支持をいただいています。

○本格的な半生セットのテスト販売へ

味噌煮込みうどんセットの成功により、半生麺で高品質のセットが作れないかというオーダーをいただきました。多くの半生麺は日持ちのために PH 調整剤（酢）などの食品添加物を使用しており、小麦本来の風味を阻害しています。小麦粉に十分な水分を加えてこね合わせると、小麦タンパク（グルテン）の網目構造の中にデンプン粒が包まれてコシと弾力が生まれます。加えた水分をすべて飛ばせば乾麺、途中で乾燥を止めれば半生麺です。しかし、細菌にとって低塩で適度な水分は繁殖の温床。細菌との戦いが始まりました。数限りない試作を繰り返し、生菌数の検査を重ねてようやく試験販売にこぎつけました。今後は設備を増強して、待っていただいているお客様に早くお届けできるよう生産能力の増強を図っていく予定です。おいしいと感じるとき、人は自然に笑顔がこぼれます。小麦本来の風味を多くの方にお届けして、健康でおいしい笑顔の輪を広げたいと願っています。



本格的な半生セット…やっとテスト販売にこぎつける

特別投稿



関西支部総会でサックス演奏

福井 敬 (時習 29)



○福井英輔氏からの一言で

一昨年 of 年末ごろだったと思います。時習館同窓会副会長の福井英輔さんから電話が入りました。「おい、敬！おまえ、確かサックス吹いとったよな！来年の6月10日だけど、時習館同窓会の関西支部でジャズをやるから、その日は空けとけよ！」

一気に畳み込まれるように言われ、私は「はい」と言って電話を切りました。(あとで今度の関西支部総会は神戸でやるとのことで、ジャズ発祥の街に因みジャズをやるのだということがわかりました)



テナーサックス演奏時の雄姿？
(平成24年度関西支部総会にて)

私がこのように唯唯諾諾として従ってしまったのは、英輔氏が私の親戚でもあり、先輩でもあることも大きな理由ですが、それ以上にかつて大変お世話になったことがあるという理由からです。

○リュックサック一つで世界旅行

実は私は、大学卒業後、東京でサラリーマン生活をしていました。数年後、豊橋に家業を継ぐために帰ることになり、その際、サラリーマン時代の退職金で(大した金額ではありませんでしたが)アラウンド・ザ・ワールド・チケットという世界一周できる飛行機のオープンチケットを買ってリ

ュックを背負って海外旅行に出ました。

その時の気ままな旅での出来事を紹介します。

スペインのタリファからジブラルタル海峡をフェリーで渡って、モロッコのタンジェに着いた時です。フェリー乗り場で「10ドルでガイドさせてもらえないか」と言われ、仕方なくガイドを任せたら、ジュータン(絨毯)の店に連れて行かれしつこく購入を迫られました。何とか断って、ガイドと各所を見た後、請求が50ドルに跳ね上がっていました。大クレームの末、15ドルで落ち着いたのです。

その後、ホテルでくつろいで、夕方食事に行こうと思ったら、イスラムのラマダン(断食)の最後の日で町は大騒ぎ、とても観光客が出られる雰囲気ではありません。仕方なく、空腹のまま寝て、翌朝、ホテルの人に「朝食は？」と聞くと、昨夜はラマダン明けだから全部食べてしまい、今は無いとのこと。しびしび空腹のままチェックアウトすると、チェックインのときに70ダラハム(モロッコの通貨)だったのが、100ダラハムという。またかと思いつつ、また交渉すると、チェックインの人と私は違うのでそんなことは知らないとのこと。何とか交渉して85ダラハム(中間価格)で納めたものの、大変なモロッコでした。

この旅行、多かれ少なかれ同様のことの連続でした。

そんな旅行で、アメリカに行ったときに福井英輔さんが、西海岸のアナハイムに駐在していたので数週間居候して大変お世話になりました。この時は本当に「地獄で仏」といった気持ちでした。

その恩がありますので英輔さんの言うことには二つ返事で聞かなければなりませんでした。

○早稲田のモダンジャズ研究会に入部

話は変わりますが、なぜ私がサックスをやって

いるかということをしりだけ自己紹介させていただけます。私は大学3年生の時に早稲田のモダンジャズ研究会というクラブに入り、テナーサックスを始めました。このクラブは大橋巨泉やタモリが出たことで有名なクラブです。プロになった先輩も数多くいました。そんなこともあり、大学3年生から6年までの4年間（私は理工学部だったので、ジャズ研の練習ばかり行って、授業に出なかったのが2年留年してしまいました）しっかりジャズ漬けで過ごしました。

東京のサラリーマン時代はジャズ研の仲間とジャズを楽しむことができましたが、豊橋に戻ってからは、サックスを吹く機会が無いかと思っていました。しかし、豊橋にも社会人ビッグバンドがあることを知り、早速入会させていただきました。というわけで、学生からずっとサックスを吹き、ジャズを楽しんでいるということになります。

○関西支部総会・懇親会での演奏

さて、話を総会に戻させていただきます。

当日は私以外のメンバーはプロの方だったので若干緊張しましたが、関西支部の松井さんがバイオリンを弾き、富山の藤卷さんが歌を歌うということで大変リラックスして演奏をすることができました。



関西支部総会で演奏：藤卷さんのボーカル、松井さんのバイオリンのもと

また、今回は伊藤事務局長の計らいで、私の同期の関西支部の人に声をかけて頂き、2人の友人が総会に参加してくれたので、久々に旧交を温めることができ、個人的にも大変楽しい時間を過ごさせていただきました。

初めて参加させていただいた関西支部総会でしたが、大変温かい雰囲気のなかで行われているのを見せていただき、皆さん本当にこの会を楽しんでいるのだなということが伝わってきました。

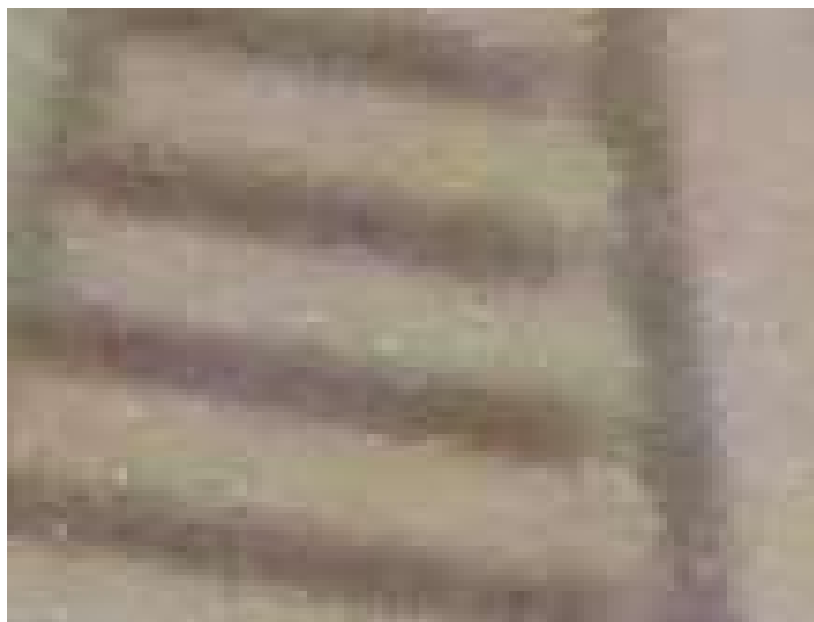
平成 25 年度の関西支部総会では、島本浣氏の講演があるとお聞きしています。これまた奇遇で、島本氏は幼少の時より大変お世話になった方です。都合がつけば是非参加したいと思います。

○私にとってテナーサックスとは

私は現在も社会人ビッグバンドでジャズ演奏を楽しんでいます。豊橋マンデーナイトジャズオーケストラでは大きな舞台での演奏もあり、充実した時間を過ごしています。

敢えて、私にとって「テナーサックスは」と問われれば「大人のおもちゃ箱」って答えるかな。

仕事にも家庭にも寄与しませんが、自分の手の中にないと落ち着かない、それでいて楽しく、ワクワクする子どものおもちゃ。ストレス解消にも大いに役立っているようです。また、機会があれば、関西の皆さんの前で演奏させていただけたらと思います。その時はよろしく願いいたします。



マンデーナイトジャズオーケストラで演奏する私（筆者）

特別投稿



ステイシーのホームステイ ～言葉は通じなくても気持ちは通じる～

堂本 こそぎ（時習 18） & Staci Rouse



ステイシーが初めて我が家にやってきたのは 2011 年 6 月のことでした。アメリカ空軍士官学校の学生というイメージからは程遠いチャーミングな 19 歳の女の子。コロラド州にある全寮制の学校で厳しく躰をされているとか、3 週間の彼女との生活はほんとに楽しいものでした。

○娘のようなステイシー

午前中は自転車で家から 30 分くらいのところにある和歌山 YMCA に日本語の勉強に通いました。朝、笑顔で”行ってきます”と言って坂道を降りていく彼女を娘のような思いで見送りました。アメリカの学校で勉強してきた日本語を使うことをとても楽しみにしていたとのことで、夕食後はたどたどしい日本語で一生懸命話してくれました。50 キロの荷物を背負って山道を歩く訓練の大変さや、うさぎを捕まえてボイルして食べる訓練で、初めは可哀想で泣いていたけれど学校に戻ったら後輩たちに指導する立場に立っていたこと、3 回生になったら飛行機に乗る訓練があつてとても楽しみなことなどを。

“言葉は通じなくても気持ちは通じる”をモットーに、今まで何度もホームステイの受け入れをしてきたのですが、日本語に興味を持って勉強しているその姿勢はとてもうれしいものでした。

忙しいスケジュールの合間を縫って虫狩りに連れていったり、高野山へも駆け足で行って来ました。子どものころ、学校の帰りに回り道をしてよく歩いた奥ノ院の杉木立を何十年振りかです歩きながら話したことは私にとってもとてもいい思い出になりました。

ステイシーと伊勢神宮で

○ホームステイの受け入れ

今までホームステイの受け入れをしたのは娘がお世話になったアメリカ・ウィスコンシン州の高校生を皮切りに、トルコの舞踏団の母娘、済州島のサッカー少年たち、カリフォルニア大学の日系四世の女子大生、インドの高校生、韓国国立音楽学校の高校生、最近では、安倍首相の提唱で始まったキズナプロジェクトで日本にやってきたシンガポールの大学生たちです

○ステイシーとの再会

その中でもステイシーとの生活はほんとに楽しく、昨年彼女が再び我が家を訪ねてきてくれたことをとても嬉しく思いました。そして六甲山ホテルで開催された同窓会に二人で参加させていただいて、皆様に歓迎していただいたことがよほどうれしかったのでしょうか、別れ際、電車の中

でハグされてしまいました。私にとっては慣れないことで人目もありちょっと恥ずかしく思ったのですが、勇気を出してハグし合っさよならを

しました。今年は卒業です。希望が叶ってパイロットとして活躍できることを遥か彼方から祈るばかりです。



ステイシーがホームステイを終えて日本を離れるときに、手紙を残してくれました。

ステイシーの手紙

About being in Japan: I love spending time in Japan and learning about the customs and culture! Spending my summer in a homestay situation and living with a Japanese family gives me experiences that I cannot comprehend by reading books. It is incredibly interesting to see the attitudes and tendencies of people who were raised and taught with such different beliefs than in America and I am sincerely grateful for these opportunities. I think it is an unparalleled chance to be able to strengthen international relations between America and Japan one person at a time; and I am grateful for the open-mindedness of all of the people I meet and the broader perspective they give me.

Take care!
Staci

日本に滞在して :

日本に滞在して習慣と文化を学ぶことができずごく楽しかった！ 夏休みを日本でホームステイして日本の家族と生活したことで、書物からでは得られない経験をすることができました。アメリカとはあまりに異なる価値観で育ち学んできた人々の考え方や風潮に接することができて、非常に興味深く、こういう機会が得られて本当に良かったと思っています。一人の人間がアメリカと日本で同時期に過ごすことは、両国間の国際関係を強化できるまたとないチャンスになると思います。そして、出会った人々が暖かい心を持ち、広い視野を与えてくれたことに感謝しています。

お元気で。
Staci



ステイシーは現在アメリカ空軍士官学校の 4 年生で、今年の 5 月 29 日に卒業です。

アメリカ合衆国空軍士官学校 (USAFA)

空軍士官学校はアメリカ合衆国の中央に位置するコロラド州コロラドスプリングスにあります。1949 年に新設された空軍の要請に見合う士官を育成するために設立され、1955 年に第 1 期生が入学しました。1976 年女性士官候補生の受け入れを開始し、1980 年に 97 名が初の女性卒業生となりました。



カリキュラムは、正規士官として必要な一般教養、専門的科目で構成されており、将来特別な専門分野に進む予定の士官候補生には、専門コースが用意されています。基本的なカリキュラムには科学、工学、社会科学、人文科学のコースが含まれており、その他 25 の主要選択科目から 1 科目を履修することになっています。運動科目では基礎体力の増強、士官に必要な運動能力の強化、リーダーシップ、人格形成を目指しています。

なお、入学条件として、国籍は問われません。今まで何人か日本の方が卒業されています。ただ、卒業後米国の軍に入隊できないことが規定されています。

フリー百科事典「ウィキペディア」より





○関西支部総会懇親会に参加

ステイシーは、来日中だった昨年の関西支部総会懇親会に特別参加しました。日本の文化に触れ、多くの友を得たいとの願いを込めて参加し、大いに楽しんだようです。



日本語でのスピーチを披露



○帰国後の活躍…訓練生として初の単独飛行

帰国後、最終学年に進級したステイシーの USAFA での活躍の便りが届きました。

2012 年 9 月 7 日、ステイシーは USAFA が前年に購入した新型訓練機 T-53A で、訓練生として初の単独飛行を行いました。1 年以上にわたり厳しいトレーニングを積んできました。



「最初の飛行以来期待していたよりずっと自信のあるフライトになりました。着陸した瞬間に、今までの厳しいトレーニングが全部報われた気がしました。助けてくれた仲間たちが待っているのを見て、とても嬉しくなりました。このフライトでみんなを力付けることができたと思うし、そうできたことに感謝しています」

ステイシーは飛行を終え、仲間や教官が待っているところに降り立ちました。空軍の伝統に則って、単独飛行を終えたステイシーを仲間の訓練生が貯水タンクに投げ入れました。



USAFA のサイト (<http://www.usafa.af.mil/index.asp>) の 2012 年 9 月 12 日のニュースより

会員便り

その道を極めた同窓生たち



会員だより



「大地の子」の回想

春山 丈夫 (豊中 47)



〇はじめに

『草原明珠』。これは海拉爾日本小学校同窓会誌の題名です。近年、ホロンバイル平原の海拉爾(ハイラル)地区は「草原の珠玉」という意味で名付けられた。本書には「大地の子」と題して拙稿を載せています。

昭和 11 ～ 13 年当時のハイラル市街は平穏な一時期でした、満州国旗に示す「五族協和」の 5 色は、日本・中国・朝鮮・蒙古・ロシア、それぞれの小学校があり、総合運動会・作品展覧会・学芸会などで技(わざ)を競いあった。

サッカーは中国・朝鮮、リレーは日本、相撲は蒙古・日本、ロシアは絵画、書道は中国、私はお城の絵が入選し、作文は遠くスイスまで送られたと聞く。

その頃から風土になじむ様に躰けられたのでしよう。

〇海拉爾日本小学校

父は海拉爾の野砲兵隊長で、家族は陸軍官舎「海敏公司」に滞在した。満鉄の海拉爾駅から南へ歩いて 10 分、右方に伊敏川の鉄橋があり、冬期は氷上を通学バスが渡れる。左方は官舎群やハイラル公園を通り抜けるとバザールと呼ぶ繁華街で、ここから右折れ・左折れの道を行くと日本小学校があった。

♪寒い北風吹いたとて おびえる様な子供じゃないよ 満州育ちの私たち
全校生徒は 150 人ぐらい、低学年は 1 学級 30 ～

40 人だが、高学年は 10 ～ 20 人の規模、軍人・官吏・満鉄・商社の子弟が多く任期は 2 年ほど。国語・算術は国定教科書、綴方で漢字をしっかりと覚えた。はやくも新聞が読める様に。冬は一面の雪、校庭に水を撒けばそのままスケートリンクになる。通学路も凍りつきスケート靴で通学の 2 年生でした。やがて雪解けの春、街は泥だらけ、長靴を脱いで膝まで裸足で浸かって通学。3 年生の初夏は楽しい、ハイラル公園には出店が並ぶ。それぞれの民族服で踊りが始まる。銀幕を立てて映画会、ニュース番組で支那事変を知った。秋は身長を越す一面の「すすき」、これを刈り取り束にしてトーチカ遊びをする。10 月は早くも雪、冬の訪れを知る。

〇家族全員の満鉄旅行

昭和 14 年春、父の転任で一家は東満の佳木斯(チャムス)へ。海拉爾駅では級友多数の見送り、もう会えないと涙。何と 42 年後に同窓会で級友数名と再開出来るとは! 「大地の子」の「絆」の強さをしみじみ感ずるこの頃です。

父は一等車、家族は二等車、寝台車は梯子で上がるのが楽しい。興安嶺の草原の美しさに見とれる。夜行列車は朝方にハルピンに着いた。

キタヤスカヤ街のインツーリストホテルに 2 泊する。実は、16 年後にも電機労連の訪中使節団の一員として同ホテルに泊まっている。当時と街並は同じだった。右方に松花江の鉄橋あり、氷上橋で対岸に渡る客を呼ぶ声か辺りにこだまする。左方は繁華街、百貨店で辺境にない学用品を買い求

めた。タクシーでハルピン中央寺院から郊外に出る。広野の中に高く建つ、忠霊塔の参詣である。

牡丹江経由で佳木斯に向う。牡丹江の繁華街に日本人街あり、今も賑やかと聞く。印象深いのは温泉風呂。これまで洋式の洗面トイレだった。銭湯を知らない子には珍しい。長旅で垢だらけの身体を父に痛い程こすられる。

○佳木斯日本尋常高等小学校

西南の小高い丘に騎砲兵隊が駐屯した。だらだら坂の上に衛兵所がある。

北側が兵舎群で入り口付近に陸軍病院と酒保があり、南側は官舎群だった。

我が家の官舎は道路をはさんで陸軍病院前、衛兵所前から通学バスが出る。

歩いたら30分の日本小学校へ。官舎の子弟を乗せて往復です。

衛兵所前の広場から見る風景は正に絶景。地平線が一直線に広がる「大地」の赤い夕陽の満州！一面の高梁畑が忘れられない。

日本小学校を北に行くと繁華街、その先に松花江埠頭があり、東に中之島、運動場が造られていた。夏期はテントが並ぶ保養地。上級生はここで

宿泊研修、4年生はその真似事の課外授業でした。秋は短く早くも冬の訪れ、父は年末に奥地の宝清部隊に転任。ここの日本小学校は全校生徒16名という。家族は故国へ引き揚げました。(私の一枚参照)

○あとがき

「大地の子」の私は、本誌の第6号「中国へ講学交流の旅」では日中平和友好をささやかに説き、第17号に「周恩来と世紀の会見」を載せ、第24号「私の一枚」は関連記事です。

去年は「日中国交回復40周年」の年でした。尖閣諸島問題で「反日デモ」が起こった。様々な行事が予定されたが取り止めとなり、本年に持ち越さざるを得なかった。

中国は広く大きな多民族国家、豊かな大陸性と、悠々迫らぬ「穏歩前進」の考え方がある。一方、面子(メンツ)の国でもある。一度手を挙げたら意地でも手を下ろさない国でもある。対する日本は「せっかち」では？

今回の騒動は小部分に過ぎないと理解しています。「小異を捨てて大同に就く」から「小異を残して大同に就く」ではないでしょうか。

私の1枚



チャムスの子

父は東満国境警備の騎砲兵部隊長、ノモンハン事変で現地へ赴任する時の写真です。家族は世田谷区奥沢の母の実家に帰国しました。

私は佳木斯日本小学校の四年生、妹は三年生、満州でのんびり過ごした「大地の子」は大都市の様変わりに驚きました。

(佳木斯陸軍官舎二十七号にて)

会員だより



隙間ものづくり

～漆器の世界～

川勝 英十津 (時習 12)



京は御所の真北にある洛北地域 烏天狗と牛若丸で名を馳せる 鞍馬寺の前を抜け車で走ること 15 分 杉木立の中 人家は一軒とてなく 不安な心が芽ばえる頃 花背峠に辿り着く 標高は 848m と比叡山と粗同じ そこから又走る事 5 分にて 200m 下った所で人家が出現 総戸数 60 数軒がひっそりと約 1.5k の間に佇んでいる 花(都)を背に特別な所として自負を抱いて暮らし続ける花背別所町 そこに私は家族と住み仕事場を持つ「私は隙間物造り」。



京都洛北花背の里周辺の地図
ここには日本の風景がある

作家 先生と呼ばれる程 思想も無ければ 継続性もない 職人と呼ぶ程上手くない 決して斜に構えて言っているつもりは無いのだけれど まあそんなに自慢する程の事は無い 木工轆轤をクルクル回して お椀にお盆・膳皿・井・猪口に盃や杯等々 形造って漆を塗る なにが隙間と問われれば まず 皆さんが造らないか造られなかったもの と申しまして全く世の中に無かった物でなく あるけれど 若しくは有ったけれど でも少しだけ違う物 大きさとか形 色 そして材料も 造り方も皆んな少し違う物 物と物の隙間を埋めると云う事でなく その隙間自身に価値を見出し存在させる とこ

う云えば仲々のものに聞えそうだが 本当の所こんな物 まあ有ってもいいかと言う位の物 ちょっと変わっているね 今迄の物とは少し違うねと感じて貰える そんな品を造っている。

〇色々あった来し方は

振り返ればこの仕事 34 才から始めた事になる それ迄は色々な仕事を齧りました 横文字業界が多かったけれど 何かを造ると云う事が基本にはなっていた ただ中学生の時から漠然と思っていた事がある 祖父からの影響で 木と云うものに憧れていた 何れ木に関係する事がしてみたいとの考えが頭のどこかにしっかりと根を降ろしていた でも別の所では 本当に自分のやりたい事は別にあるのではと 模索するもうひとりも存在した だから色々試してみた。しかしひとつの事に 3 年以上続くと云う事はなかった 単に辛抱なしのレットルと 浮気性なだけだとの評価が定着したのだが そこで現れたのが頭の中にしまっておいた木に携わる仕事 ここで本当にやりたいと思っている事を始めようと決心をした。じゃあ具体的には何んの仕事だと云う事になるのだが この時私は三重県の陶芸家の所で居候をしていて 運転手とか草取りとか 工房の設計 ガス窯造りと色々やっていた その中で当然焼物屋ですから食器造りもやらせて貰っていた だから 木の仕事は必然的に食器造りの木工轆轤の方向へと進みました。ところが先程に書いたが年齢は 30 過ぎ 今から手仕事の技術を覚えるには遅すぎる せめて高校卒業時から始めるのが普通だろうと 石川県の山中の全ての作業場で断わられてしまった でも拾って下さる神様もいるもので 山中の漆器研究所の主任さんが 黙っていてやるから 空いている研究所の轆轤を使って自分で勉強しな

いと 結局見様見真似で2年間 夜は温泉街のスナックでバーテン稼業を続け乍ら 独学で過ごしました。そして又々拾って下さる神様が現れて本格的な作業所勤めと云う事になりました。まずは荒挽きからと その道 30 数年の先輩を見習って1年間荒挽きばかりを続けました。ある時地元のおばさんにそっと云われました 先輩と同じか たまにはそれ以上の数をこなしてます よく頑張りましたねと 本当に嬉しかったし涙が出る程でした。それから3年仕上げ挽きをさせて貰いました。これが研究所の隙間に育った「すきま物作り」のスタートでした。



山中の漆器轆轤研究所

○その後の変転

その次は岩手県に轆轤の指導にと云われ又々3年間。この3年間は実に貴重な時間になりました。あらゆる樹種が此処にはあるのです それを使って食器類を造ってみたのです それは それは 多くの樹と語り合いました その経験が今の材料「桐」を選択した要因である事は間違いありません。

○やっぱりスムーズには行きません

そして京都に帰って仕事を始めたのですが 木地を造っただけでは使用に耐えず 水止めに何の塗料が良いものかと色々試めしてみたが 行き着いた所が漆と云う事になりました。だがこれも独学で様々な本を頼りに四苦八苦 漆にかぶれ痒い痒いで七転八倒。でも又々拾う神が現れて漆芸家の中でも名門の方がかの三重県の焼物屋のお父上 手ほどき弟子入りはないけれど 漆場に何度もお邪魔して お仕事を見学させて頂きました 出来なかった事を確認して 改めて

自分でやってみる 徐々に漆塗りみたいになってきた。



手挽きの図

結局 私には師とか先生と呼べる方はありません だから誰にも遠慮する事が無いのです 恥をかかす方もない 守らなければならない 教え 技術 手法 表現法 皆んな有りません 自分の出来る範囲内 自分が納得する所 まあ良いかな思える物 完璧にはちょっと遠いけれど 今 私はこうなんです こう造ってみました 如何でしょうかと 真似て作るのではなく 自分のオリジナルとして サンプルとか以前自分で造って気に入っている品すらも側には置きません ただ 今 良いなと思われる造り方そして自然に出来上がる物 作為の出過ぎない物 そんな まあ云って見れば頭の中で作る事でなく 先入観を出来るだけ取り除いた物造りを目指しているのです。

最近 私の展示会のタイトルは「軽漆塗木器」カルイウルシヌリノキノウツワです 直近のDMの一部見て下されば幸いです。



松本のギャラリーで「軽い漆塗の木の器展」
軽い器にし、普段使いを呼びかけた



一口食べると
その分だけ減った事が分かる
器が軽くなってゆく事で
食べたという実感がわいてくる
そんな所から食事が楽しくなれば
幸いです

8000 年前の漆の塗膜が出土した
縄文からの DNA
酸にもアルカリにも
熱いものも冷たいものも
油にだって耐える
世界最高の塗料



塗っては研ぎ 塗っては研ぎ
重ねること 10 数回
空気中の水と反応して
固乾する
その反応は数十年続くと
云はれている

朱・赤は丹ともいう
弁柄は酸化第二鉄
黒は漆に鉄分を混入する
溜は漆本来の色
白はチタンホワイトを練り合す
錫は錫の粉を蒔いたもの



日本の家は
木と土と紙で出来ていた
日本の国土の 70 数%余が
樹木で覆れている
木は日本の文化そのものだ
木は優しい

軽くて 自己主張を
余りしなくて でも
使う人の意思にはお応えしたい
何を盛っても それなりに
暖く素朴で 扱いやすい
そんなウツワになりたい



最後にお願ひです

戦後出現したプラスチック製品 そして塗物
は使いづらい 面倒だ 手入れが大変だ その
上 使いたいと思うけれど高価すぎる等々 漆
器に対する世間のイメージは余り良いものでは
ないようですが どうぞ無理をしてでも私の造

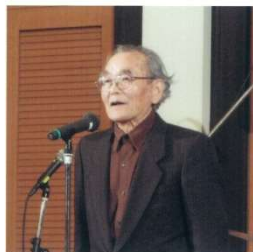
った品をお使ひください 又普段とは違う隙間
の存在を認めて下さる そんな機会を与えて下
さい。どうぞ宜敷くお願い致します。

まだ道を極められない同窓生より

○故郷での古稀展から（一枚の写真）
節目の時に催させていただいている豊橋での展示会、60歳の還暦「華甲展」の時2人展を。そして、「古稀展」は前回一緒だった河邊満江（書）さんに加え、鈴木範子（織）さんと3人展を行う。多くの同窓生が来場。借りたフォーティエオトは人で一杯、何かすごいことになっているとの噂が立つ。その期間中、同窓会の「古稀の祝い」が催された。時習館関西支部の支部長である石川吉之助君や副支部長の鈴木茂樹君も出席されていたと思うが、もう何か記憶が定かでなくなってきた。加齢の所為とあきらめてみる。さて、古稀の祝いであるが、幹事の方が慮って宣伝も兼ねて乾杯の音頭を取れと指名され、その時の写真と恩師の列席を賜ったので、その写真を併せて掲載させていただくことにした。皆さまの温かいご支援により展示会は大成功に終わったこと、皆さまに感謝している。



「古稀の祝い」で乾杯の音頭とる筆者



日頃は、洛北鞍馬で霞を喰らって修行「古稀」になりました。今日は、時習十二古稀祝で乾杯。



↑ 小島先生（数学）
藤田先生（社会）
野球部監督



↑ 倉内先生（国語）
八木先生（体育）

人生七十古来稀
伝語風光共流転
暫時相賞莫相違

2012.03.22

会員だより



畳表に魅せられて

小田 宗 (時習 13)



平成 23 年 6 月 5 日、太閤園で行われた関西支部総会の終了間際に“こんな畳を作っているのですが…”と言って、小さな畳を持って飛び出し、皆さん方を“一体何のこっちゃ？”と驚かせてしまったかも知れません。



太閤園での一コマ (ミニ畳を持っているのが私です)

確かに、時習館を出、大学まで出た奴が何でまた畳屋に？と思われるのも無理からぬことです。人生にはいろいろな巡り合わせがあるものです。

今回、会報のスペースが頂けるということで、拙文を顧みず、畳と絡んだ半生の記を書いて見ることにしました。

ポイントは紙テープでこよりを作り、これを織機に掛けて織り上げた畳表ですので、この畳表に出会うまでと現在の状況について述べさせていただきます。ちなみにメーカーはこの紙テープを和紙と呼んでいますので、私も和紙製畳表と称します。

○和紙製畳表に出会うまで！

昭和 42 年に旧松下電工 (現パナソニック) に入社、数年後に起きたオイルショックに対応するため急遽ソーラーシステムを開発するよう命じられました。現在ソーラーと言えば太陽電池です

が、その当時は太陽熱で湯を作るものでした。

私も当時“石油はあと 17 年ほどで無くなりますよ！”と臆面もなく広言しておりましたが、数年を経ずして事実と異なることが判明、社内失業するに至りました。

危機感を煽って何かさせようとする手法…特別なものではなかったはずですが…日本全体で見事に引っ掛りましたね。

心機一転、昭和 60 年に系列会社の旧ナショナル住宅産業 (現パナホーム) に移籍しました。ここで担当した多くの商品の中に畳があったのがそもそもの出会いでした。



昭和 55 年頃のソーラーシステム (松下電工製)

住宅はその土地で得られた材料を用い、風土に合わせて作られるのが最も良いと言われております。長年、日本の住宅は材木、土、紙等を主体には作られてきました。畳表も藁草 (いぐさ) 製のものが昔から用いられてきました。

しかしながら世界一細かい所まで品質要求する日本の顧客に対応するため、建材は自然素材からどんどん工業製品に取って変わり、50 年ほど前いわゆる“新建材”と呼ばれるものが生まれました…懐かしい名前ですね！

プリント合板、突き板合板、集成材、化粧スレート板、石膏ボード…等々用途に応じて次々と開発されました。時として有機溶剤、ホルマリン

等のVOC問題を起こしたりはしましたが、きれいな仕上がりと作業の効率化のため好評裡に用いられてきました。

伝統的建材は棟梁、職人等その道の専門家が、いわゆる“うんちく”を傾けながら価値付けをしていったのに比べ新建材は誰でも容易に扱え、かつ伝統建材に負けない仕上がりになりました。日本が急成長、住宅需要が急上昇した時代にうってつけの商品であったわけです。

この流れの中であって、最後まで自然素材の藁草に捕らわれていたのが畳でした。草ゆえに品質のバラツキは大きく、当時の勤務実態は藁草表の良さを訴える間もあらばこそ、実体はクレーム処理に走り回っておりました。

専門家ではない住宅会社社員が畳を扱うことを諦めようかと思っていた矢先、開発されてきたのが和紙製畳表でした。やっと畳表も“新建材”が出てきたか！という思いで調べてみますと藁草の香りがしないと言う点を除けば性能的に非常に優れたものでした。

会社幹部の中には“本物志向”という言葉に酔って藁草製の畳表を主張する人もおりましたが、面従腹背“本物志向のお客様が最初からプレハブ住宅など選ぶものか！”の確信のもと、標準仕様を藁草表から和紙表へと切り替え推進をしました。そしてほぼ全面的に採用達成となったころ、定年を迎えました。

○和紙製畳表との同行二人

定年を機会に第2の職場として、枚方市にあります“町の畳店”に勤めることになりました。社員 15 名程度ですが家族経営の多い畳店の中では、そこそこの規模の畳店です。

社長は3代目で畳の一級技能士、それ故、今でも“備後表、藁床、手縫い”畳に価値を主張、私が“それは時代錯誤ですよ！”とのツッコミを入れることもあります。それでも和紙表の販売量が上がるにつれ社長はじめ職人の面々も考えが少しずつ変化し、これも良いかな？の心境に達しているようです。それに伴い私の立場も安定してきたようです。

和紙表の将来性を信じながら第2の職場に入った訳ですが、最初は畳業界の下請け体質にちょ

っとビックリしました。元請さんからの注文待ち体質にドブプリつかり、和紙表という新素材がありながら一向にPRしようとせず、新しい魅力を訴えることもなく、和室が減ったことを嘆くばかり、挙句の果て価格競争に陥っている状態です。

私も微力ながら、何とか手はないかと見本帳を作ったり、ホームページにトライしてみたりしましたが一介の畳店のこと、大した効果はありませんでした。

5年ほど前だったと思いますが、社長が冒頭の“ミニ畳”の話聞いてきました。

販促物に、あるいはイベント会場等で製作実演すれば、多様な和紙表をPRするにまたとない方法と感じました。ただし準備が大変で、どこの畳店でも3枚、5枚程度は作れますが何十枚となると、なかなか対応は難しい状態です。職人は“日銭”を稼がねばならず、こんなことをやっている時間はありません。こうなってくると特別決まった仕事を持っていない私の“年寄り仕事”の出番となりました。一部材料は工場から出て来る廃材の活用にもなります。

作り方も少しずつ改善、リフォームフェア等のイベント会場で来場者と一緒にミニ畳を作成、作ったものはお持ち帰り下さいとやると、結構人気で“人寄せパンダ”になります。



イベント会場でのミニ畳作成風景

1枚作るのに20~30分かかりますので、この間お客様とのおしゃべりがまた楽しいものです。下は3、4歳から上は80歳過ぎまで、話をしながら作業しております。ミニ畳の上に置くフィギュアの話、学校の話、お年寄りなら戦中戦後の話と、話題はどんどん広がって行きます。

なかでもご夫婦で来られた場合など、その会話から家庭の状態が透けて見えることもあります。

直接の畳の売り上げになかなか繋がらないのが難点ですが、結構面白く、過ごしています。



ミニ畳の使い方：
ウサギ（干支）の置き物の敷き床として

なぜ、自分が畳なぞ担当しなければならないかと正直思ったこともあります。振り返ってみれば畳のお陰で定年後 10 年以上も楽しく勤められ

ることになりました。飲み会やゴルフの誘いのない時は決まった時刻に出勤していることが現在の健康の源と思っています。

私の半生は結果的に“畳と同行二人”と言ったところでしょうか。

○畳が再び日の目を見るまで

住宅の床材としてフローリングが圧倒的に使われていますが、“靴を脱いで家に上がる”という生活習慣が日本からなくならない限り、いつの日か必ず畳が日の目を見る時が来ると思います。そしてその時には和紙表が非常に有望と考え毎日楽しく過ごしています。

藁草製畳表と和紙製畳表

○藁草製畳表

伝統的に使われている畳表で藁草という植物を編んで作っています。

藁草は普通、米の裏作として栽培され 11～12 月ごろに“田植え” 6～7 月ごろに刈り取りとなります。特徴的なのが、刈り取り後の“泥染め”、細かい粒子の陶土溶液に浸した後、乾燥させます。このため新しい畳表には細かい泥、埃のようなものが着いているように見え、特に若い人に嫌られる原因になっています。長所短所は経験的に皆さんご存知と思います。

以前は岡山付近を中心に全国あちこちで栽培されておりましたが、現在国内では熊本の八代地区が中心になっております。国産品は全国需要の約 20～30%程度、残りけ中国よりの輸入品です。

藁草刈り取り風景



○和紙製畳表

本文で述べました通り、専用に使った紙テープでこよりを作り樹脂含浸して撥水性を与えたものです。従って汚れ難く掃除が簡単、日焼け変色しない、丈夫で長持ちする、赤や青等多くの色揃えが自由にできる一など藁草表にない特長があります。

さらに藁草表と異なり折り曲げても切れることがないので最近流行の縁なし畳にも適しています。畳店としては品質が安定しているのが一番扱い易いところです。



和紙製畳表の製造手順

会員だより



魅力的な関西支部の総会・懇親会

～関西支部の一員に～

岡田 康彦（時習 14）



私は時習館高校同窓会の東京支部長を務めているが、昨年、関西支部の一員にも加えて頂いた。

時習館高校を卒業して 51 年。昭和 41 年に大蔵省に入省し、東京国税局長、証券取引等監視委員会事務局長を経て環境庁に転じ、官房長、事務次官等を歴任して退官。その後、住宅金融公庫副総裁、全国労働金庫協会理事長を務めたが、一昨年 6 月末に退任し無職浪（老？）人となった。

○関西とのご縁

①元来貧乏性で、何もせずにボーとしていることが苦手②家にいれば邪魔者扱いされることは目に見えている③政府の審議会の委員や環境団体の役員を多数引き受けており、日程調整等で秘書が要る④環境関係のボランティア活動に従事しているが、全国規模で動くので何がしかの小銭が要る。

こうした課題を一挙に解決するため昨年 1 月、弁護士登録をして弁護士法人北浜法律事務所に入所した。



北浜法律事務所 関

ふだんは東京の事務所にいるが、月 2 回程度は大阪・北浜の事務所顔を出しており、そこには私の机もある。大阪の往き来は、途中のぞみの車窓から豊橋周辺を眺め故郷を思い出す楽しみが

あり、これも悪くない。



北浜法律事務所入所の披露パーティーの際、集まってくれた時習 14 回の同級生と（平成 24 年 3 月 4 日）

○さすが関西支部総会

現役時代、関西勤務の経験のない私には、大阪の街も新鮮で魅力的である。少しは関西の勉強もしたいし、仕事以外のつき合いも欲しい、ということで昨年関西支部に入れて頂き、神戸の六甲山ホテルでの総会に出席したが、これがアットホームな感じで非常によろしい。着席で食事をしながら会は進められるがアトラクションもあるし、同級生の出席者も多くテーブルでの会話も弾む。



関西支部総会：神戸の六甲山ホテルで関西支部同級生（時 14）と談笑（右から二人目が筆者）

もう1つ良いのは、各府県持ち回りの幹事制で、会場も一昨年が奈良、今年は京都とのことで、関西ならではの企画である。



関西支部総会であいさつする筆者

東京支部長として、少しは東京支部総会に取り入れることはないかと考えてみるが、こればかりは仲々難しく、少し悔しい思いがする。赤坂のホテルニューオータニでの講演会と立食パーティという構図は当面大きくは変えようもない。

これからも関西支部の会員として出席して楽しませて貰いつつ、東京支部で真似できるものがないか探索もさせて頂こうと考えている。よろしくをお願いします。

今まで携わってきたことのいくつかを、写真で紹介することにしたい。

写真で見る私の活動報告

労働金庫連合会の理事長として



「ろうきん森の学校」を樹ち上げた。5周年記念のシンポジウムに自らパネリストを引き受けて企業のCSRについて語る
(平成21年12月9日)

東日本大震災の被災地に植林を進める財団法人「森の長城プロジェクト」理事として



細川護熙理事長と共に、仙台で苗木用のドングリ拾いをした。手にしているのはドングリ
(平成24年11月11日)

(公社)日本環境教育フォーラム会長として



毎年山梨県の清里で開催している「清里ミーティング」で夜の交流会のスナップ。参加者とワインで談笑
(平成24年11月17~19日)

会員だより



関西支部に入会しました ～加西市を終の棲家に～

松下 和正（時習 14）

〇はじめに

2011 年 11 月に新潟県長岡市から兵庫県加西市に引っ越した。新潟県は時習館東京支部だった。長岡から東京は上越新幹線で旅費が高く、また当時は暇がなかったので東京支部の行事に参加したことは一度もなかった。加西市に引っ越し、関西支部に入会させていただいた。加西から大阪、神戸は交通費も安く気軽に行けるので多くの行事に参加している。

〇住まいの変遷(京都→津→長岡→加西)

昔から住まいが一定せず転々としてきた。高校卒業までは蒲郡の親元にいたが、京都の大学に入学し、下宿生活が始まり、京都市にほぼ 10 年住んだ。最後は伏見稲荷に近いぼろアパートに 4 年ほど住んだ。あのころは私の青春時代だった。縁あって新設の三重大学工学部工業化学科（三重大学そのものは昔からあったが工学部はその時に新設）の助手になり三重県津市に 8 年ほど住んだ。その間、ロサンゼルス の UCLA に客員研究員として 2 年間滞在した後、津に戻った。津は県庁所在地でいろいろ便利で、人口は少ないが静かな住みよい町だった。近くの伊勢神宮にはなんどもお参りした。

それからまた縁があってやはり新設された長岡技術科学大学に移ることになり、長岡に 30 年以上住んだ。長岡市は全国でも有名な豪雪地帯。当時は市内でも積雪 2 メートル。冬には毎朝雪かきが日課だった。

雪の観察、雪の面白さ、雪とセラミックスのよく似た動き、雪国の暮らし、さらには雪が原



豪雪地帯の長岡…大学の窓から写した雪景色（長岡技術科学大学）

因の複雑怪奇な人間関係など話題は語り尽くせないほど多い。もちろんスキーも楽しんだ。雪にも色々あり、北海道の雪と新潟県の雪は全く違う。気温が低く寒い北海道の雪はサラサラしているが、比較的気温の高い新潟県は融けかかって水分の多い湿った雪だ。長岡に家も建てた。

「これがまあ終の棲家か雪五尺」（一茶）そう思っていた。

2012 年 11 月に雪国ではあるが住み慣れていた長岡市を引き払い、加西市に引っ越した。家も新築。屋根には 6kW の太陽光発電。瀬戸内海に近いので日照量が多い。新潟県近辺は北アルプスの山々が連なり、険しく厳しい景観が多いが、中国地方の山々はそれに比べて丸く、タヌキのお腹を連想する柔らかい景観だ。少なくとも加西市では雪は降らない。猪避け、鹿避けの網が張り巡らされている畑が多いのに驚いた。

やはり山は深く、動植物の種類と数は豊富だ。

「これがこの終の棲家か雪がない」。

本当に終の棲家になるかどうかわからないな。でも多分そうなるだろう。

○私の専門分野、取り組んできたこと

私の学部、修士課程では工業化科(専攻)だった。三重大学では工学部工業化学科。セラミックス材料化学、特にガラス材料工学が専門だった。

長岡技科大でははじめは化学系材料学科にいたが、環境システム工学科新設に伴いそこに移り、化学、環境材料工学を担当した。そこで環境科学に深く関わりあうようになった。この学科の主力は土木工学で、科学者とは違うタイプの人たちとの付き合いは新鮮だった。新潟県の廃棄物リサイクル、下水汚泥利活用推進協議会座長、長岡市の環境審議会委員長などの公務もこなすようになった。

2009年3月に定年退職。しばらくは新潟市、長岡市の仲間と環境問題などに取り組み、またずっと専門にしていたガラス材料工学の研究会、委員会、講習会講師など種々の依頼に応じていた。

冬になるとシベリアから渡来する「白鳥の湖、瓢湖」が新潟県阿賀野市にある。新潟市の機械製造の町工場の協力を得て、瓢湖の水路にマイクロ水力発電装置を10機設置した。500Wの発電能力、それほど上等ではないが蓄電装置と組み合わせLEDランプで夜の照明、イベントの照明ができるようになった。機械製造コスト、設置コストはそれまでの物に比べて一桁以上も

安くできた。

原子力発電ともかかわりがあり、ウランの核分裂により生じた高レベル放射性廃棄物のガラス固化を当時の動燃(後のサイクル機構)と共同開発も行ってきた。福島原発事故ですべてが停止状態になった。あの事故で、日本の技術、特に技術システムがあまりに脆弱だったことを思い知らされた。

しかし何と言っても私が長年携わり、今も心の支えになっているのはガラス材料科学だ。ガラスの工芸作品の写真を一枚掲載した。



私(筆者)のガラス工芸作品です。

ガラスとは何か、ガラスの面白さなどについては、何か機会が与えられたらその時に話したい。

○その他

中学、高校時代は卓球部に属し、毎日卓球をしていた。大学では弓道部に入り、2段になった。新設の長岡技科大では弓道部を創設し、弓道場を創り、顧問をずっと務めた。加西市には弓道場はないようだが、機会があったら弓道を再開したいと思っている。

私の1枚



久しぶりにリラックスし、家内と日光・中禅寺湖を訪れたときのこと、湖のほとりに広がる美しい紅葉に感激、その紅葉をバックに写したものだ。平成23年のことです。

会員だより

大学から匂いが消えた



島本 浣 (時習 18)



いつの頃からかはっきりしないが、日本は匂(臭)いのない無臭の国になってきた。そして、あわせるように大学からも消えていった。大学に長く勤めている者としては、このことがかなり気になってきた。教育ということにも関係するからである。



昔の京大吉田寮の風

〇匂いの個性があった時代

ぼくの住んでいる京都の大学をとってみれば、少し前まで、京大、同志社、立命館といった昔からの大学には、誰にでもわかるある匂(臭)いがあった。京大の学生は「京大生」と呼ばれ、「京大の学生さんは頭がいいが女の子には持てない」—こんな声をよく聞く。ぼくもここの学生だったのでずいぶん損をした、というよりその通りだったのだが。



京都大学吉田キャンパス正門

〇臭さが消えた

匂いが消えたというのは比喩的というだけでなく、実際の臭気もそうなのだ。大学にそうした場所が少なくなってきたのである。ぼくの体験からも実感できる。昔は学生寮を筆頭にして、学生のたまり場はたいがい臭かった。そうした場は、例外はあるが、特殊なこととなってきた。これは公衆衛生観の変化とも関係するのだろう。禁煙運動、反ばい菌(古い表現だ)運動、反おやじ運動(こんな感じの風潮)等々、世間は人間の臭さに反感をもつようになってきた。この無臭化する社会と大学の匂いの希薄化は、おそらく関連しているに違いない。

その「京大生」が百万遍から市電にのり河原町今出川の交差点にさしかかると、市電の雰囲気がガラッと変わり少したじろぐのだった。

少し西にある同志社の学生たちが乗りこんでくるからである。

センスのいい女子学生(同志社と同志社女子大が混じっていた)や女の子と楽しそうに話をする男子学生。男同士でむさくるしく電車にいるぼくたちは、なんか恥ずかしいような気持ちになった。

その同志社の男子学生は「どうやん」と呼ばれていた。

「おしゃれで少し金持ちで遊び上手。だから女

の子には人気がある」－「どうやん」についてはこんなイメージが定着していた。

ンパス
同志社大学今出川キャン



いつも市電のなかで、京大に入ったのを後悔したものだ。その河原町今出川の交差点から南下すると、今度は「リッチャン」と医大生が乗り込む。立命館と京都府医大である。



立命館大学パンフレットより

医大生は人数も少なく、それほど意識しなかったが、のちに大森一樹の映画「ヒポクラテスたち」（1980年）を見て思い出したことは多々あった。ただし、主役のひとり、ランちゃん（伊藤蘭）のような医学生に会ったことはなかったが。

反対に「リッチャン」の方はちょっとした迫力があつた。その語感もあるのだろうか、硬派でタフな、だがちょっと野暮ったいイメージである。

大学紛争では悩まされたが、そのタフなイメージはいまやアメフトに残されるぐらいだ。ともかく、年月を経て、「京大生」も「どうやん」も「リッチャン」もおしなべて同じような学生になってきたのだ。

〇匂いのアイデンティティー

こんな京都老舗三大学の思い出話しはきりが無いが、そうした呼称が大学の匂いに関係していることを言いたいのだ。「どうやん」は単なる呼称ではなく、大学の匂いそのものの記号でもあつた。オーソドックスな言葉使いをすれば「性格、個性」、今風にいえば「キャラ」ということになるのだろうが、ここで匂いといっていることはちょっとだけ違う。性格や個性というものが意味する精神的な意味合いではなく、またキャラのもつ人の外観に表象される差異としての個性とも少し違う。実際の匂いと結びついたもっと身体的な感覚をもつものである。



今も変わらぬ鴨川
賀茂大橋風景

「京大生」にはそうした匂いがあつたのだし、「どうやん」も「リッチャン」もそうだったのだ。キャンパスに踏み入れれば、京大は「京大生」のように臭く、他の二大学も独特の臭いをもっていた。そして個々の学生は、意識しようがしまいが、自分の同一性を、この大学の匂いのなかに見つけていたのだと思う。それは大学で「学ぶ」ことにも関係していた。



京大正門横のカフェ、昔と違ってキャンパスもおしゃれになつてます

その匂いが消えた現代の大学は、どのような教育の場となっているのか、なかなか解答が見つからないのである。

会員だより



わが国の「新聞の父」 ジョセフ・ヒコは兵庫生まれ



熊谷 信哉 (時習 18)



わが国の「新聞の父」と呼ばれるジョセフ・ヒコ(浜田彦蔵、幼名は彦太郎)の名前をご存じの方も多いことだろう。



リンカーン大統領と握手したところ、アメリカで撮影されたヒコ

幕末に現在の明石市に近い兵庫県加古郡播磨町のお百姓の家に生まれた彦太郎少年は 13 歳の時、漂流してアメリカ・サンフランシスコに上陸後、さまざまな経緯を経て明治初期の日本に西欧文化を伝えた先覚者である。

帰国後は主に貿易商として横浜で活躍。生まれ故郷である兵庫県との縁はあまりないように受け取られがちだったが、結構、活躍の足跡を残している。

ジョセフ・ヒコ(以下「ヒコ」と略記)が生まれ育った播磨町が町制施行 50 周年を記念して 12 年 4 月 28 日(土)から 6 月 24 日(日)まで播磨町郷土資料館で特別展を開き、これに合わせ、彼の研究を続けている「新聞資料研究会」(羽島知之会長)も全国大会を開いた。この機会にヒコの兵庫県内の活動に絞り、彼の周辺を改めて紹介してみよう。

○幕末、兵庫で生まれる

ヒコの人となりや、歩みを知るのに主にタネ本にしたのは近盛晴嘉氏著『ジョセフ＝ヒコ』(吉川弘文館の人物叢書)。

ヒコは、日本で民間人による最初の邦字新聞(有料)を発行、わが国の「新聞の父」と呼ば

れる。ヒコら 17 人は江戸見物の帰途、摂津の舟「永力(えいりき)丸」に乗って暴風のため遭難、アメリカ商船「オークランド号」に救助された。さまざまな曲折を経て、いったんは日本の土を踏みかけたが、幕府の厳しい鎖国政策に阻まれ、やむなく渡米。洗礼を受け、米国に帰化、遭難から 9 年経ち、ようやく帰国、以後、開国に伴う、さまざまな折衝を行うなど、日米外交の前線で活躍した。

○歌に残るヒコの功績

以下、彼が帰国してからの動き、特に生まれ故郷である加古郡播磨町との関わりや、ヒコが実業人として一時、活躍した神戸市周辺での動きにも触れてみよう。

「新聞の父 ジョセフ・ヒコ」展を開催した加古郡播磨町。地元の阿閑(あえ)音頭＝播磨町の前身は阿閑村＝2 番では「昔アメリカ 八重潮(やえしお)越えて 薫(かお)る新聞文化の花を ホンニ日本に咲かせた人は 僕の私の浜田彦」と歌って、ヒコの功績を称えている。

○故郷を 3 度訪れる

生まれ故郷に残るヒコの墓



明治になって、ヒコは生まれ故郷を 3 度訪れた。最初は 1868(明治元)年 8 月、兵庫県令・伊藤博文の口利きで、県が買い入れたばかりの汽船「オルファン号」で、途中からは陸路、播州入りした。漂流してから 19 年ぶりの故郷は大きく変わっており、知人も少なくなっていた。

故郷の人たちの意識は鎖国時代のままで、洋服に身を包んだヒコを遠巻きにするだけだったようだ。この雰囲気を感じ、ヒコは予定を繰り上げ、一泊しただけで故郷を後にした。

2回目は1870（明治3）年で、父母や家族の墓碑を建てるためだった。最後は1871（明治4）年11月。元姫路藩主酒井忠邦侯から「姫路に行き、先覚者として藩士に新しい時代について何でも話してやって欲しい」と依頼され、両親の墓碑の除幕式も兼ねて播州入りした。町内の蓮花寺境内にある墓の裏にはヒコの書になると言われる英文が刻まれており、「横文字の墓」と呼ばれている。英語で「両親ト家族ノタメニコレヲ建テル」=by Joseph Heco (Hico と書くときとハイコと呼ばれてしまうので) と書いてある。

「兵庫大仏」で知られる能福寺（神戸市兵庫区）の境内には、ヒコが寺の縁起を記した日本で最初の外国人向け英文碑もある。

○精米所開設、アーク灯点灯…

実業家としての足跡も兵庫県内に残している。1875（明治8）年、ヒコは神戸の豪商・北風家と組んで製茶の輸出貿易を始めたが、わずか9カ月で提携を解消した。1881（明治14）年には兵庫県令・森岡昌純の勧めで、神戸に蒸気機関を備えつけた新式の精米所を開設。この3年後、弁天浜でアーク灯7個を1週間点灯させたが、これはヒコの蒸気機関を兵庫県が借用して行った。

すぐ近くに小泉八雲も住んでいた
ヒコ居住跡に神戸市が建てた碑



神戸市中央区中山手通り6丁目、マンション「テラス神戸中山手」（旧・海員掖済会病院）敷地の中には「本邦民間新聞創始者ジョセフ＝ヒ

コ氏居址」の碑が立っている。1935（昭和10）年、神戸市が建てたものだ。

○特別展では「幻の新聞」も展示

播磨町郷土資料館で開催した特別展では、ヒコを中心に、幕末前後に漂流した日本人らの軌跡と功績を約40点のパネル等で展示した。

近代新聞発行前の江戸時代に出された瓦版や、新聞のあけぼのを告げる翻訳新聞、英字新聞、日本人による最初の民間新聞で「幻の新聞」とも言われる「新聞誌」1、2号や、ヒコが発刊した「海外新聞」6号が新聞資料研究会から出品され、興味深かった。また「海外新聞」が社会とともに成長、時代とともに発展して現在の新聞文化の基礎を築いたことをアピールするため、新聞各社の創刊号なども展示。私の古巣である神戸新聞社も同展開催に全面的に協力、1898（明治31）年2月11日に創刊された神戸新聞の創刊号（コピー）を初め、創刊号に関する記述の載った創刊55年史、70年史、100年史なども展示した。

播磨町郷土資料館では「ヒコは、何度も渡米し、幕末外交界で活躍。アメリカの民主主義を明治日本に伝える役割も果たしたが、『自分は日本人』と常に思っていた。生まれ故郷の播磨町への思い入れも強かった」と話している。

○歴代の米3大統領に会う

ヒコに関しては吉村 昭『アメリカ彦蔵』（新潮文庫）も読んでみた。さわりの部分を紹介してみよう。

聡明なヒコを気に入ってアメリカでの両親代わりとなり可愛がったのは、サンダース・サンフランシスコ税関長。ヒコを自宅に住ませ、教育を受けさせた。

ヒコは在米中、ピアース、ブキャナン、リンカーンと3代の現職大統領に会う幸運にも恵まれた。この詳細は省略するが、「日本で言えば雲の上の高貴な存在である將軍に謁見することと同じでは…」と受け取ったヒコは最初、大いに恐れ、尻込みした。結局、私邸やホワイトハウスで会うことが出来、握手を交わした—というエピソードが残っている。

○洗礼受け、日本人として初の米国帰化

ヒコは遭難・渡米後、18 歳の時、ボルチモアのミッション・スクールと、後にサンフランシスコ大学になった学校に入学。学んだ学科は、聖書、英語の書き方、読み方、天文、地理、算術、音楽など多岐にわたり、母国帰国後に活躍する基礎をつくった。

熱心なカトリック信者・サンダース夫人の強い勧めで洗礼も受けた。「ジョセフ・ヒコ」の誕生である。

1858 年には日本人として初めて米国に帰化した。(帰国してからの経歴は省略)。

○ヒコに学ぶもの

吉村 昭が幕末の漂流民をテーマにした作品としては、他に『漂流』(新潮文庫)もある。高知に実在した漂流民・長平がモデル。大変おもしろい。

長平は江戸時代後期(天明年間)、土佐から漂流、伊豆諸島の無人島・鳥島に漂着、3 人の

仲間を失いながら生き抜くための強い意志と知恵で、最後は仲間と協力し、漂着した木材をつなぎ合わせ、造り上げたボロ舟で島からの脱出を実現してしまうというドキュメンタリー。スペースの関係で、これ以上、ご紹介出来ないが、ぜひ一読をお勧めしたい。



播磨小学校の校庭の一隅で後輩たちを見守るヒコの碑

閉塞感だけが漂い、海外から帰国した人の目には「笑顔が消えてしまった」と映るらしい現在の日本。想像を絶した限界状況に遭いながら、希望を失わず真っ直ぐそれに立ち向かっていったヒコ。彼や仲間たちが築いた日本人の生き方の原点が、どこかで現在の私たちの DNA の中にも組み込まれていると信じ、時に先人たちの事蹟を思い起こすのも大切ではなからうか。

ジョセフ・ヒコ関連略年表

- 1837(天保8)年 現在の加古郡播磨町で誕生。幼名は彦太郎(後に彦蔵)。
- 1850(嘉永3)年 遠州灘で遭難、52日間、太平洋漂流後、米船に救助される
- 1858(安政5)年 米国に帰化、市民権を得る
- 1864(元治1)年 『新聞誌』創刊。翌年、『海外新聞』と改題
- 1868(明治1)年 故郷・播磨町古宮に帰る
- 1871(明治4)年 故郷の蓮花寺に「横文字の墓」を建てる
- 1875(明治8)年 北風家と組み、神戸で製茶の輸出貿易を始める
- 1877(明治10)年 神戸郊外・東明村に住む。このころ結婚
- 1881(明治14)年 神戸で蒸気式の精米所も始める

- 1884(明治17)年 精米所の蒸気機関を貸し、神戸に初めて電灯ともる
- 1897(明治30)年 ジョセフ・ヒコ死去、60歳。東京・青山の外国人墓地に埋葬
- 1935(昭和10)年 神戸市が中山手通6丁目に「本邦民間新聞創始者ジョセフ・ヒコ氏居址」碑を建てる
- 1960(昭和35)年 当時の加古郡阿閑(あえ)村が「新聞の父浜田彦蔵(ジョセフ・ヒコ)の碑」を播磨小学校庭に建てる
- 1964(昭和39)年 東京・青山の「浄世夫彦之墓」墓前で「日本の新聞百年感謝奉告祭」を行う
- 2013(平成23)年 出身地の播磨町で、ジョセフ・ヒコにちなんで命名された小惑星「Heco(ヒコ)」の誕生を記念すべくイベント開催

(注)年表の記述は、おおむね前掲書に拠ったが、最近の研究の成果を取り入れた記述も一部採用している。

会員だより

思い出の地にみんなで立った！

鈴木 優（時習26）



時習館高校サッカー部が創設されたのは昭和2年1926年のこと。当時は愛知県立豊橋中学でした。世の中は大正時代が終わり、新たな昭和という激動の時代に向かってキックオフ。その創部から今年で86年、あと14年で創立百周年です。時習館でもかなり古い歴史のクラブではないでしょうか。

さてそんな時習館サッカー部ですが、その戦績を見ると県大会での優勝はなく、最高が準優勝、東海大会では3位がベストです。なぜ私が知っているかということ…すみません、私自身がその黄金時代のイレブンの末席を汚すメンバーだったからでした。

このことは時習館同窓会関西支部の皆さんは「アブ」での飲み会や会報誌『時習かんさい』での昨年の福井キャプテンとの対談（2012年6月10日）でご存知の方が多いはず。その席で1972年＝40年前のメンバーが東海大会3位になった思い出の上野高校のグラウンドにみんなで立つ、という計画があることを書きました。今回はそれが実現した楽しい話題を報告します。

まずは40年前にタイムスリップしましょう。昭和47年＝1972年、その年は西ドイツのミュンヘンでオリンピックがありアラブの過激派に選手村が襲われた悲劇の大会になりました。サッカーではポーランドがハンガリーを破り優勝。まだプロの選手が参加できない五輪だったので常にステートアマで編成された社会主義諸国のチームが覇を競っていました。この2年後に同じ西独でワールドカップがあり、ヨハン・クライフ率いるトータル・フットボールのオランダがフランス・ベッケンバウアーを擁する地元西ドイツに決勝で敗れました。私たちの世代のサッカーフリー

クで知らない者のいないゲームでした。

さてその昭和40年、第19回東海総合サッカー大会に愛知県の準優勝校として参加した我が時習館高校サッカー部は6月の中旬に意気揚々と三重県上野高校のグラウンドに勢揃いしました。佐藤重明先生以下、2年生、3年生合わせて17名。東海大会は愛知、岐阜、三重&静岡の各県1、2位の高校がトーナメント方式で競う大会です。

「静岡県」が入っていることをお忘れなく。浜松・静岡・清水の強豪がひしめき、当時全国有数のサッカー県でしたから。この時の我がチームのメンバーが後にも先にも「時習館サッカー部の黄金時代」と呼ばれる栄光のフットボーラーたちなのでした。



昭和47年東海大会、上野高校グラウンドにて

試合経過をお伝えしましょう。初戦は三重県大会で優勝した地元の上野工業高校。優勝を狙う相手にうちは佐藤先生直伝の「オフサイド・トラップ」で翻弄し、攻撃は当時の県代表のフォワードで後にJリーグ・ジュビロ磐田でゴン中山を教えた不動のエース・福井英輔君を軸に、センタリングの名手・松野尾文明君をからめ、ハーフ（当時はミッド・フィールダーをそう呼びました）の小柳津キャプテンの押し上げもあって徐々に圧倒。先制点は意外や伏兵のウィング・私・鈴木がなん

と苦手のヘディングで決めてしまいました。
嬉しかったのなんのって、駆け寄るイレブンにもみくちやにされその後の記憶は完全に吹っ飛び、気が付けば試合は3・1で勝利。この大会は3位決定戦がないので初戦に勝てば3位以内が決まります。よっしゃ、東海大会3位だ！と意気揚々とグラウンドを後にしたことを覚えています。この勝利に浮かれすぎて翌日の準決勝は静岡県立清水東高校に1・3と完敗。清水東(後の全国制覇常連)は決勝でも同じ静岡工業を2・0で破って優勝しました。決勝戦を観て「これはレベルは違う」と私にプロサッカーマンの道を諦めさせた40年前の出来事でした。

今は昔の蹴球談義。時代は40年後に進みます。昨年の春に誰からともなく「彼の地を巡って、遙か昔のサッカーに打ち込んだ青春時代を偲ぼうではないか」というアイデアが浮かび、会社の定年を前にヒマになったメンバーが東海大会3位の上野高校のグラウンドを訪れるツアー企画が実現しました。結局集まったのは佐藤先生の他に9名。時習25回生の小柳津隆弘さん(同チームの名キャプテン)、谷野守彦さん、後藤康典さん、26回生ではFWの福井英輔君、松野尾文明君、私・鈴木優、MFは伊藤和夫君、BKは榎本貴志君、それにGKの伊藤恵祐君でした。

梅雨空の6月16日、私以外は愛知県より東に住んでいたので自動車に分乗して三重県の湯の山温泉の「三峯園」に集合。温泉風呂と懐石料理に舌鼓しながら当時のサッカー話に花が咲きました。

40年前との違いは皆かなり髪の毛が減り、その分体重が増え、当時のお茶が日本酒に変わっていたことでしょうか。

70歳代の佐藤先生も往年の強面顧問から一転、



忍者屋敷で佐藤先生と(女の子はくノ一)

心優しき好々爺然として教え子達の成長を楽しそうに眺めていました。練習の厳しさ、試合のチョンボ、合宿の武勇伝などを語り合ううちに夜は更けていきました。

翌日は雨も上がり思い出の上野高校グラウンドへ。少々迷ったものの蹴球の女神に導かれて目的地に到着。必死で練習している現役のサッカー部員にボールを借りて、40年前と同じ並び、同じポーズで記念写真をパチリ。17名は9名に減って、年も重ねたけれども、何物にも代えがたい貴重な思い出の一枚となりました。



40年前と同じ場所で同じポーズの記念写真

その後は40年前にも試合後に立ち寄った「忍者屋敷」で遊び、昼食は鈴鹿のしゃぶしゃぶで痛飲しながら最後の思い出話に浸りました。佐藤先生の感慨深いお話を聞き、中年イレブンも時習館時代、サッカーに打ち込んだ青春の思い出を語り、こうして「時習館高校サッカー部黄金時代イレブン・思い出の蹴球ツアー」は楽しく幕を閉じたのでした。

佐藤先生、10年後にまた全メンバーを招集して「50年後の思い出旅行」をしませんか？



湯ノ山温泉「三峯園」で宴会、サッカー談義に花が咲く。夢の対決もここから生まれる(次頁)

1970年代 V.S. サッカー-スーパースター軍団

この年代は、サッカーの黄金時代と呼ばれ、多くの天才選手が輩出した。彼らの活躍は、日本のサッカー界に大きな影響を与えた。

1970年代 (70年代)

- 岡井謙三 (岡井謙三)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 中野浩二 (中野浩二)
- 山本浩一 (山本浩一)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)

1980年代 (80年代)

- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)

1990年代 (90年代)

- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)

試合結果

- 1970年 W杯 キリシト下会 球勝 アジール4-1 イタリ (90. シルビオ、シルビオ、カネコ、アキハ)
- 1974年 W杯 西独本会 球勝 西ドイツ2-1 オランダ (1974年、トナミツ)
- 1978年 W杯 アルゼンチン本会 球勝 アルゼンチン3-1 オランダ (アハバ)

⑥

特別企画! 夢の対決! 時習サッカー部 黄金時代化ワシ

この年代は、サッカーの黄金時代と呼ばれ、多くの天才選手が輩出した。彼らの活躍は、日本のサッカー界に大きな影響を与えた。

1970年代 (70年代)

- 岡井謙三 (岡井謙三)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 中野浩二 (中野浩二)
- 山本浩一 (山本浩一)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)

1980年代 (80年代)

- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)

1990年代 (90年代)

- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)
- 佐々木健児 (佐々木健児)

試合結果

- 1970年 W杯 キリシト下会 球勝 アジール4-1 イタリ (90. シルビオ、シルビオ、カネコ、アキハ)
- 1974年 W杯 西独本会 球勝 西ドイツ2-1 オランダ (1974年、トナミツ)
- 1978年 W杯 アルゼンチン本会 球勝 アルゼンチン3-1 オランダ (アハバ)

⑤

会員だより

明恵上人



お茶を世界に ～宇治茶伝来 800 年に因み～

森下 庸子（時習 25）



今年の時習館創立 120 周年を迎えます。その記念の年に関西支部総会を 1200 年の歴史と伝統のある古都・京都で開催します。

京都は伝統文化が息づいているところで、お茶もその一つ。今年の総会では開始前に、「宇治茶のおもてなし」でお出迎えする予定です。

○800 年前に宇治にお茶が伝わる

宇治茶と言えば、てん茶、蒸し煎茶に玉露茶といった新茶種を生み出した地。その宇治茶の歴史は古く、鎌倉時代にさかのぼります。お茶を日本に伝えたのは栄西禅師でした。1191 年に禅師が中国から種を持ち帰り、佐賀の背振山に植えたのが始まりと伝えられています。

それから 10 数年後の 1205 年に栄西が京都に臨済宗のお寺・建仁寺を建立し、それを機に高山寺の明恵上人がたびたび建仁寺を訪れました。その時、お茶の種をいただいたのでしょう。京都梅尾にその種を蒔いたのが京都における茶の栽培の最初、1207 年との記述があります。その後、明恵上人はお茶の栽培を広めます。あるとき宇治の山すそを馬に乗って通ると、お百姓が畑仕事をしていたので、お百姓さんにお茶の種を蒔くよう勧めましたが、蒔き方が分からないと言われ、馬に乗ったまま畑に入り、いく筋もの馬蹄跡を付け、そこに蒔いたら良いと教えました。これが宇治に茶が栽培される起源として言い伝えられています。

その年は定かではないですが、それが葉をつけ、宇治茶が誕生したのはおそらく 1210 年～1213 年ころではないでしょうか。今からちょうど 800 年前のことです。この節目の年に、少しは宇治茶に携わっている私が皆さんに宇治茶をふるまえるのは大変光栄なことです。また何かの因縁を感じます。

○お茶は農産物です

そこで、いま少し、お茶についてお話してみます。

「お茶にも品種ってあるんですね？」。よく聞かれる質問です。

確かにお茶にも品種があります。病気に強く、新芽が芽吹くのが早くも遅くもない中生種と言われる「やぶきた」は、日本茶の 80% 以上を占める品種です。芽の出る時期が比較的遅い「おくみどり」や「おくゆたか」、早い「さえみどり」「ゆたかみどり」、玉露や碾茶（抹茶の原料）を作るための遮光栽培に適している「ここう」や「あさひ」など様々な品種があります。お茶の品種を説明するために、よくたとえに出すのがお米です。お米と言えば 1 種類の作物ですが、その中に「ささにしき」や「こしひかり」という品種があります。お茶も同じように考えて下さい。お茶は農産物なんです。

○いつもの味が期待されるお茶

ただ一つ農産物と違うことがあります。

皆さんは、どのようにしてお茶を買われますか？なじみのお茶屋さんや百貨店で「いつものお茶を下さい」と言って注文しますか？それとも、スーパーで決まった袋に入ったのを買いますか？どこで買うお茶も名前があり、その名前のお茶は、毎年同じ値段で同じ味がする、それが当たり前です。

たとえば、私の会社が阪急百貨店の頒布会に出しているお茶は「五月の雫」と言い、1 缶 3,000 円です。ずっと加入していただいているお客様も多く、毎月届くのを楽しみにいただいています。その方々に「今年は新茶時期に霜が降りて

出来がよくなく、あまり美味しくないです」とか、「今年は収穫量が少なかったのですが、申し訳ありませんが、今月は値上げします」などと言えるでしょうか。いえ、お客様にとっては、「五月の雫」は、いつも同じ味で同じ値段です。お米でも、ホウレン草など他の野菜でも、その時の出来不出来によって値段が上下しても当然ですが、お茶はそうではありません。



「今年の出来はどうかな？」
その年の茶葉の出来栄を確認
する筆者
から
お茶のうまさは品質の良い茶葉

これは、ウィスキーやビールでも同じことだそうです。先日、サントリーの方と話す機会がありました。ウィスキーでも、その年の麦のでき具合、寝かせておく樽の位置～部屋の真ん中か、窓際か、奥の方か～によって、味が違うそうです。けれど、お客様にとって、サントリーの「オールド」と言えば、その味を期待されます。

○ブレンドの達人・茶師

そこで登場するのが、ブレンドをする人です。日本茶の世界では、茶師と言います。「合組（ごうぐみ）」という日本茶独特の言葉がありますが、言い換えると「ブレンド」です。現在、どの茶製造会社でも、自社で栽培している茶のみを扱っているわけではなく、日本全国から買い付けています。茶師たちは、仕入れたお茶を1つ1つ吟味し、今月の「五月の雫」を作るために、「香りのよいこのお茶」に「旨味のあるそのお茶」を足し、「あのお茶の渋み」を少し加えるという作業をして、同じ味で同じ値段になるように作っていきます。別のお茶を作る時も同様です。これが日本茶の合組であり、茶師の仕事です。彼らがいるからこそ、皆さんに一年中変わらない味のお茶を、一定の価

格でお届けすることができるのです。日本茶は合組が勝負と言っても過言ではありません。

○日本茶インストラクターに

このような事を知り、日本茶って奥が深いなあ、面白いなあと思いました。最初は、紅茶も烏龍茶も緑茶も、元の茶葉は同じという事も知らなかった私ですが、一念発起して勉強し、日本茶インストラクターの資格を取りました。

急須のない家庭が増えていると言われる時代です。緑茶と言えばペットボトル、または回転寿司でお馴染みのインスタントのお茶やティーバッグを思い浮かべる人が多くなってしまいました。

逆に海外では、緑茶に興味を持つ人たちが増えているようです。ヨーロッパは硬水の国が多く、緑茶をうまく抽出する事ができません。それでも、緑茶が健康に良い成分をたくさん含んでいることが知られ始め、少しずつ広まってきています。

○急須で本物のお茶の味を味わって！



「宇治の里から急須でお茶を」
本物の日本茶の味をお楽しみください！
なお、京都の総会では、受付を済ませた方からウエルカムティーで歓迎します。是非ご賞味ください

日本では、コーヒーはインスタントから普及し、レギュラーコーヒーへと移行しました。日本茶はその逆の過程をたどっています。けれど、ペットボトルなど簡易な形では、決して味わえない味があるはず。宇治では「宇治の里から急須でお茶を」というキャンペーンをしています。私も日本茶インストラクターとして、本物のお茶の味を、世界中の多くの人に知っていただくよう、頑張っていこうと思っています。

会員だより



健康と味にこだわる
～すっぽんラーメンの道～

森下 亜希子 (時習 45)



この文章を読んでくださっている同窓生の先輩・同級生・後輩の皆様、ありがとうございます。

私の経営する「すっぽんらーめん太尊」は、兵庫県西宮市の、武庫川という地元の人に愛される、ウォーキングできる河川敷やサイクリングロードがあり、四季折々の花が咲く、川のほとりの小さなラーメン屋です。武庫川の上流には宝塚大劇場、2つ隣の駅には甲子園球場があります。小松という、私の住む町の人たちは、明るくて気性がサッパリしていて穏やかで、人情味のある人たちが多い気がします。私にとって、豊橋に継ぐ、第二の故郷になるこの町を愛しています。



武庫川周辺の風景



〇こだわりのすっぽんスープ

太尊は、すっぽんと高麗人参をベースにスープを炊き、そのスープを元に料理を作るラーメン屋です。2000年に店をお師匠さんから引き継ぐ形で今、13年目に入りました。

すっぽんは長崎産、お師匠さんのところからのお付き合いです。高麗人参やその他の漢方薬は韓国に直接買い付けに行きます。ソウルは活気があり、どんどん街が新しく変わっていくので、寂しかったりワクワクしたりします。毎日炊くすっぽんスープを練り込んでもらって作る特注麺も、こだわりのひとつです。

スープの味はあっさりとした和風の味付けです。最初のひと口目は、物足りないくらいかもしれません。もうお亡くなりになりましたが、お師匠さんの言葉で印象深い言葉があります。

「どんぶりの中のものは、全部お客さんが買ってくださいましたものや。だから、麺も具も、スープの最後の一滴まで、全部食べ切って飲み干せるように、と思って作りや」

頑固で繊細で優しくて人が好きで面白い、素敵なお師匠さんでした。一緒に働いていて本当に楽しかったです。私は今も、お師匠さんが大好きです。

〇いろいろな人に助けられて

どんな生活をしていてもそうかも知れませんが、ラーメン屋をするようになってからの月日の流れ方は本当に驚くほど早く、たまに振り返ると感慨深くもなります。毎日、健康で楽しく過ごせていることと、この店をしていることで出会えた人々に感謝しています。

何もわからないままラーメン屋を継いだ私を、いろんな形で周りの人が助けてくれました。温かく優しいお客さんたち、誠実な仕事を重ねてくださる業者の方たち、この町で知り合えた、私にはもったいないくらいの素晴らしい友だち。いつもひとりで営業している店ですが、いろんな人が居てくれて、やっと出来ているのです。

○父の母校でもある時習館

時習館高校は私の父の母校でした。父は転勤族の技術系の会社員で、もう亡くなりましたが、私は父が大好きで、尊敬していました。だから、時習館高校に入学できたとき、本当に本当に嬉しかったです。在学中も、胸が詰まるような温かい思い出をたくさんもらいました。引っ越しで友だちとの別れも多かった私は、高校時代の友だちが父を訪ねて来てくれたり、優しい目で楽しそうに高校時代の話をする父を見て、父の母校に入りたい、そしてこんな風に幸せな目をして語れる友だちをつくりたい、と思いました。

そして、その夢は叶いました。個人的な友だちだけでなく、今、時習館のあらゆる年代の卒業生が、大尊に足を運んでくださいます。うんと年の離れた卒業生の方も来てくださったりして、時習館高校の懐の深さに感動することが多いです。ありがとうございます。近くにお越しの際は、是非、太尊に遊びにいらしてください。お待ちしております。

どうかこれからも、私たちの大切な母校・時習館高校が、未来永劫在り続けてくれますように。

今、青春真っ只中の在学中の後輩たちが、最高の高校時代をそれぞれ過ごして、その後の人生の糧にしてくれますように。

そして、これからも元気で幸せに、みんなで一緒に生きましよう。



店の前に立つ筆者



極太麺は土鍋で出しています。

○こだわりのスープと麺

ラーメン激戦区を生き抜くため、健康と味の研究に日夜努力中

スープ	麺
<p>大釜で炊き込んだ太尊特製のらーめんスープは、あっさりしているのにコクのある旨味の食べやすい味で、老若男女の区別なくお召し上がりいただけます。</p> <p>すっぽんは、体内で合成できない必須アミノ酸組成の良質なたんぱく質や、カルシウム、ビタミンB2、カリウム、リンなどの栄養素をバランスよく含み、コラーゲンもたっぷりです。また、高麗人参は、滋養強壮作用の生薬の王様とされ、虚弱体質の改善や、肉体疲労の回復、食欲不振や胃腸障害の改善、免疫力の向上、血流をよくする効果、ストレスの緩和など、様々な効能が認められています。</p> <p>味のタレを入れる前のすっぽんスープは、白濁した黄緑色をしています。これらの栄養素がたっぷり溶け出た、独特のコクがあります。</p>	<p>長いお付き合いの麺屋さんに、すっぽんスープを持ち帰ってもらい、麺に練り込んでもらっております。何度も試行錯誤の末、麺屋さんと相談しながら改良し、最高の麺に仕上がりました。</p> <p>すっぽんのゼラチン質が麺の中に入ることによってモチモチとした独特の食感が生まれました。麺に含まれるスープが多く、すっぽんらーめんにより合うと思うので、デフォルトでは中太麺でお作りします。</p> <p>2011年秋より、超すっぽんらーめんなどの土鍋を使った一部のメニューに中太麺の2倍の太さの極太麺が加わりました。(上の写真です。)</p>

会員だより



海獣たちが教えてくれること ～海遊館獣医師の仕事～



林このみ（時習 52）



父親の趣味が釣りということもあり、小さい頃から海や海に暮らす生き物が大好きな子どもでした。水族館で働きたいという夢を抱いたのは中学生のころ。テレビでイルカのトレーナーの仕事を見てこれだと思いました。実際に水族館でイルカやシャチをみて、そこで働くトレーナーの姿を見た時には、胸が自然と熱くなり、今まで経験したことのない気持ちになりました。



イルカに目を奪われる

○水族館の獣医師になりたい！

イルカのトレーナーは華やかな表舞台の仕事であるイメージが強く、若い女性が多いです。しかし体力的なことや時間の制約などで、女性の場合、結婚すると辞めざるを得ないことも多々あります。少しでも長くイルカに関わる仕事がしたいという思いと、自分が担当している動物が病気やけがをした時に何か自分ができればという思いで、水族館の獣医師を目指すようになりました。

獣医の大学には入ったものの、大学では犬猫や牛馬といった大動物の勉強がほとんどで、海のは哺乳類イルカについてはもちろん、国家試験の必須科目である魚病ですら3日間の集中講義で終了です。どうやったら水族館に就職できるのかも分からなかったため、大学3年生の夏休みに和歌山県にある「太地町立くじらの博物館」に飼育実習に

行きました。そこには、イルカのトレーナーを目指す専門学校生が多数実習に来ていました。みんな就職活動の一環として実習に来ているため、何も分からずなんとなく実習に来た私とは明らかにモチベーションが違いました。他の実習生と話をし、実際に飼育の仕事を体験させてもらうことで、水族館の獣医師になるために今、何をすべきなのかが分かり、また「水族館で働きたい」という思いも強くなりました。



ラッコは水族館の人気者

○水族館で働くことに

水族館の獣医師というのは、もともとその職の人口が少なくほとんど採用がありませんが、卒業の年に運よく獣医師募集があり、縁あって海遊館で働くこととなりました。

○飼育の基本は「3じ」

いざ獣医師として水族館で働くこととなったとは言え、飼育されている生き物たちについては素人同然…。魚の名前もわかりません。まずは飼育の仕事から勉強です。水族館の飼育の仕事の基本は「3じ」です。「3じ」とは何か…。①「調餌（ちょうじ）」生き物たちの餌を作ること②「給餌（きゅうじ）」生き物たちに餌を与えること③「掃除（そうじ）」飼育環境をきれいにするこ

そして生き物たちのことをよく知ることです。えさを作るのもただ決まった餌を決まった量だけ作ればいいというわけではありません。お腹をこわさないように新鮮な餌を使うのはもちろん、それぞれの生き物の口の大きさや食べ方に合わせて切り方も変えます。また体重や体調を観ながら餌の種類や量を決めます。餌をあげるのもただ食べさればよいというわけではありません。餌をあげる際に、生き物たちの様子がいつもと違わないか、食欲はあるか、ケガはしていないかチェックします。トレーニングも給餌の時にを行います。給餌は生き物たちに近付くとても大切な時間です。掃除も生き物を健康に飼育するために欠かせません。飼育水槽だけでなく調餌室、通路などを常に清潔にし、手指の消毒を徹底することで生き物たちが病気になるように予防することがとても大切です。

「海遊館獣医師の仕事」と偉そうなタイトルをつけましたが、獣医師は飼育係の仕事の補助的なものでしかありません。



トレーニングの合間にアシカとくつろぐ

イルカやアシカ、ペンギン、ラッコ、ジンベエザメをはじめとする魚たち、治療対象は野生の生き物であり、病気に関しては分からないことだらけです。また、野生の生き物は弱みを見せると天敵にすぐに襲われてしまうため、病気になっても最後の最後まで弱っていることを隠そうとするので、病気の発見が遅れてしまいます。昨日まで元気に餌を食べていたのに、朝来たら死んでいた、ということもありました。何より生き物たちを病気にしない、病気を予防することが大切です。そのためにも飼育の基本「3じ」が非常に重要になるわけです。

〇ペンギン担当からラッコ担当に

そんなこんなで、入社後すぐにペンギンの飼育担当に、そして3年目からはラッコの担当となりました。ペンギン担当の時には、親鳥がうまく子育てできなかった雛を親代わりになって育てる人工育雛を何例も経験させてもらいました。



給餌を待ちかねたペンギンたちが集まってくる

筆者に甘えるペンギン



毎日泊まり込みで世話をする中で、子育ての大変さや飼育の基本を学びました。

ラッコは水族館一神経質な生き物です。担当者や餌のロットが変わったり、薬を餌に詰めて匂いや味が変わるだけでも餌を食べなくなってしまふことがあります。また、治療のために捕獲しただけでショック死してしまうこともあるといいます。



ラッコの点眼トレーニング

意外に神経質なラッコには細心の注意が必要



このため普段から体を触る練習、薬を飲ませる練習、体重を計る練習、注射をする練習をしています。こうして生き物たちとの信頼関係をつくっておくことが大切になります。



アシカのトレーニング

○これからも勉強

海遊館に入社し5年が経ちますが、まだまだ分からないことばかりです。治療がうまくいかず、死んでしまった生き物たちもたくさんいます。先ほどもお話しした通り、水族館獣医師の相手は野生動物です。治療をするにも病気の予防をするにも、その生き物のことを知るということが何よりも大切です。生き物たちに教わり、勉強させてもらっているんだということを常に心にとめて、いつか生き物たちに恩返しができるような獣医師になっていきたいと思います。



海遊館の紹介 いきものたちに出会う旅(水槽ガイド)

すべてのものは、つながっている。

海遊館のコンセプトは、イギリスの科学者ジェームズ・ラブロックの提唱するガイア仮説に基づきます。これは火山活動を持つ地球と生き物は互いに作用しあうので、一つの生命体である、という考え方です。

た広大な「太平洋」水槽を中心に 14 の展示水槽を備えており、この水槽の配置も環太平洋の地理関係を忠実に再現。つまり実際の地球環境にできるかぎり近づけて再現しているのです。

トンネル型水槽「魚のとおりぬけ・アクアゲート」で幕を開けた旅は、最上階の太陽の光が降り注ぐ「日本の森」を皮切りに、地上から海底へと続きます。館内には太平洋を模し

太平洋をめぐる海遊館の旅で、生命のすばらしさや尊さ、不思議さ、そして自然環境の大切さを感じていただきたいと思います。



支部便り

活動報告他



東京支部より

7月17日



東京の日

ファイアストームと渥美湾

東京支部事務局長
杉井 孝 (時習 17)



○ファイアストームの危機

確か私たちが高校三年生だった昭和 39 年の秋のはじめ、生徒会執行部担当の先生から、突然、今年には体育祭の後のファイアストームを止めることとしたいと言われ、驚いたことがありました。何でも、去年のファイアストームの後で、本宮山に登って酒を飲んで騒ぐなどの不祥事があったから、ということでした。

しかし、永年続いた伝統的行事を私たちの代で終わらせる訳にはいかないと、私と友人の大木修君が臨時的にストームリーダーに加わることを条件としてストームを行うこととなりました。もちろん、その年に再び不祥事が起これば今後は無条件で中止されることが大前提でした。おそらくその先生もストームをその年中止させたくなかったのでしょう。

ファイアストームで旗を振らないストームリーダーが二人、異例のことでしたが、他のストームリーダーとも緊密な連携をとり、お蔭さまで無事ストームは終了しました。

聞くところによると、去年も、体育祭の後ファイアストームが行われたようで、喜ばしいことです。

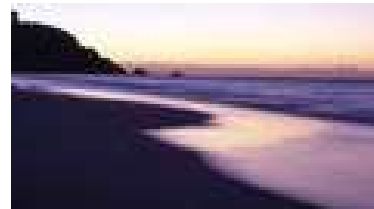
○渥美湾、渥美郡そして渥美半島

ところで、そのファイアストームの際に唄われるのが「三河男児の歌」です。全体の歌詞は忘れてしまいましたが、妙に覚えているのが、最初の出だしです。「雲に聳ゆる段戸山、波は静けき渥美湾」、現在唄われている歌詞は、どうも「渥美湾」ではなく「三河湾」のようですが、私たちの

時代は確かに「渥美湾」でした。現在の地図をみると「三河湾」が圧倒的に優勢ですが、どうも国定公園として「三河湾国定公園」ができてから「三河湾」のほうが優勢となったような気がします。

「渥美郡」も田原町と渥美町、赤羽根町が合併して田原市となり、ついになくなってしまいました。さすがに「渥美半島」と豊橋鉄道「渥美線」は残っています。

平成の市町村大合併により、いくつもの郡が消えてしまいましたが、江戸時代まで行政区域として機能していた（例えば郡役所、郡代官）〇〇郡というのは、私たちにとって意味がありなじみ深いものでした。渥美半島と渥美線には今後ともがんばって残ってもらいたいものです。



ロマチックな名称を持つ「恋路ヶ浜」何となく青春を思い出させます

○渥美の由来

では、なぜ渥美郡だったのでしょか。最近、豊橋周辺の地域を「穂の国」とか「ほの国」と称することが流行っています。穂の国とつく観光案内のパンフレットがたくさんありますし、先ごろは、丸物百貨店が穂の国デパートに変わりました。これからも「豊の国」（大分県 — 豊前、豊後）ならぬ「穂の国」で全国に知られることは結構なことだと思います。

しかし、なぜ「穂の国」なのでしょう。私の記憶では、確か東海道の裏街道であった、いわゆる姫街道の沿線周辺地域を「ほの国」と呼ぶこと

がありました。この辺りには、宝飯郡とか本宮山、本坂峠など「ほ」や「はひふへほ」で始まる地名が多いからだと聞いたことがあります。その「宝飯郡」も今回の合併でなくなりました。とうの昔になくなった「八名郡」と併せて、豊橋周辺の三郡は消えてしまいましたが、将来とも覚えておいて欲しいものです。

本題に戻りますが、渥美半島には南方民族が黒潮に乗ってやって来たのです。島崎藤村によって、伊良湖岬のヤシの実是有名です。



流れ着いたヤシの子孫？

ものの本によると、昔々そのまた昔、ポリネシアやミクロネシアなどの南方から、舟などで黒潮に乗って日本にやってきた人たちがいて、その人たちは「アツミ族」とか「アマミ族」と呼ばれていました。その人たちが住みついた日本の各地には、その名に因む名前が多いというのです。

例えば奄美（アマミ）とか熱海（アタミ）とかです。各地に存在する熱海（アタミ）やアツミはその典型です。福島県の磐梯熱海や山形県の温海（アツミ）町（温海温泉）などです。太古の昔のことですから、琵琶湖のほとりの安曇川（アドガワ）や大地溝帯沿いの安曇野（アズミノ）もそうです。渥美半島にもアツミ族が上陸し住みついたのです。これが渥美郡の由来であると思われま

穂の国の農耕民族とは異なる漁労民族ですから、おそらく天下太平的な楽天的な性格の中に、荒くれた性質を併せ持っていたのでしょう。そういった眼で見ると、渥美半島の人たちは、どことなく他の三河地方、東三河地方の人たちと違うような気もしてきます。

○時習の「きずな」を深めるために

こうした数々の逸話と歴史に彩られた三河と渥美地区、そこにはそれぞれの地域や思いや特性があります。その思いや特性を認めながら、互いに強い結びつきを深め後世に引き継いでいくことが、私たちに与えられた役目なのでしょう。

そのためにも、時習の強固な絆を。関西支部の神戸総会に参加し、その思いを一層強くしました。



関西支部総会で挨拶する筆者。東京支部事務局長、名古屋及び関西の各支部長が一堂に

ファイアストームで肩を組んだ記憶は遠い思い出ですが、同世代の者、同郷の人として、考え方や心情を理解しあえる友として、その連帯に胸を熱くしたことを覚えています。

今後とも、支部同窓会間の交流の輪を広げ、時習の精神とファイアストームの心意気をいつまでも伝えていきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。

平成25年度時習館同窓会東京支部 総会・懇親会のご案内

日時:平成25年8月10日(土)午後1~4時
場所:ホテルニューオータニ「鳳凰の間」
講演:未定

時習41回生が幹事をつとめます。
関西支部の皆さんのご参加を期待しています。



JKL 便り
時習館関西女性の会



第 17 回 JKL 淡路島への一泊旅行記

園家 文 (時習 14)

古事記 1300 年に因み、JKL として国生みの地・淡路島への旅が企画されました。この旅は JKL 発足以来初の一泊旅行です。以下、一會員の旅日記としてご覧いただければ幸いです。

.....
○ 4 月 21 日 (土)

危ぶまれていた空模様も一転、朝から心弾む...

10 時 30 分、時習レディスが新神戸駅に集合。名古屋 JNL の方々 7 名のご参加で 17 名賑々しく旅のスタートである。早速、今夜宿泊の「ウエスティンホテル淡路島」からのお迎えバスに乗り込み淡路島に向け出発～。

車中で伊藤加余子さん (時習 10 回生) から「古事記 1300 年」についてのお話を仰ぐことになっていたがご都合により叶わず、事前にご準備頂いた資料に各自が目を通す。

現在「淡路島」と呼ばれている淤能碁呂 (おのころ) 島は、伊耶那岐・伊耶那岐の二柱の神様が沼矛 (ぬほこ) を下界にさしおろし海水をかき回し引き上げその先から滴る海水の積もり固まったもので、その後次々と四国、隠岐の島、九州、最後に本州が生まれたというのである。何とも面白い、これから訪ねる地に興味がそそられる。

バスは快適に淡路島南端まで走りぬけ、道の駅「うずしお」で海の幸の昼食。この後、淡路島人形浄瑠璃館へ。生き別れた母子の切なくも悲しい

再会のお話「傾城阿波鳴門巡礼歌の段」を鑑賞。3 人で操る人形の滑らかな所作、哀調溢れる浄瑠璃の響きも相まって母子の情愛が涙を誘う。館内には歴代の面、衣装、ほか資料が陳列されており暫し淡路の伝統文化に浸った。

「スキンヘッドのドライバー平野さん、二日間よろしく願いいたします！」

早速ながら、優しいお計らいで予定外の渦潮観光までご案内頂ける事ことになった。この素晴らしいプレゼントに皆大喜び！渦潮が間近に見られる「渦の道」は鳴戸大橋の橋桁に設置されており四国の徳島側から入る。運の悪いことにその日は近づいて来た低気圧の影響で、強風吹きすさぶ中、450 メートル余りの遊歩道に行くのは想像を絶する過酷さ。それでも海面から 45 メートルからの覗き窓から怖さも忘れ幾つかの渦を確認、しっかりカメラにもおさめた。帰路「たこせんべいの里」店で無料提供されているコーヒーを頂きへとへとになった身体を癒す。ホッ！名産のたこせんべいを購入。

順調に行程も進み、ホテルへと車を進め早めのチェックイン。これより JNL から古田節子さんがご参加。夕食は 2F レストランでバイキングに舌鼓。そして旅の感動と疲れをベッドにゆだね就寝。

○4月22日(日)

早朝より伊藤忠男事務局長さんも駆けつけて下さった。朝から恨めしい雨である。早めに身支度をして伊弉諾(いざなぎ)神社へ向かう。古事記1300年祭の大例祭の前に時習館高校同窓女性会の為、ご祈祷をしていただけるといふ公式参拝の栄に恵まれた。これは、淡路県民局県民生活室長の鬼本英太郎さん(時習27)のご尽力によるもの。はじめに本名宮司さんからユーモアまじえての国生みにまつわる神社のお話、続いて稲岡禰宜さんの厳かな祝詞、笛にあわせた優雅な神楽に足の痺れもしばし忘れる。伺えば宮司さん、禰宜さんお二方とも愛知県ご出身の由、不思議なご縁を思う。好天であれば、神輿やだんじりも鑑賞できたのにと悔やまれてならない。

そして、これも番外ながら、阪神・淡路大震災の後設けられた北淡震災記念公園へも。エントランスには真二つに折れ倒れ込んだ阪神高速の場面が再現されており我々を出迎えた。この記念館は1メートルもの断層のズレや異様に隆起した現場であって、当時のままの状態を見学出来る施設なのである。震度5の体験装置もありその中に身をおかれた方々はかつての恐ろしさを思い出し震えたことだろう。

ホテルに戻ると豪華なランチが用意されていた。大石由紀子副支部長のご挨拶、伊藤忠男事務局長、片岡聡子副支部長からもお言葉を頂き乾杯、

そして歓談。

午後になると雨も小降りになり空が少し明るく感じる。

もう一つの見所、「奇跡の星植物園」へ。ホテルから続く通路を進むと大きなガラス張りの建物へ導かれる。この巨大な温室ではプランツギャラリー、トロピカルガーデン、シダルーム、季節の花や緑で演出された空間など多彩な設えで私たちを迎えてくれた。珍しい植物に驚き、美しい色彩に酔い、昼さがりは癒しの時となった。

盛りだくさんの観光、出会いの2日間であった。その感動を胸に明石大橋を渡り帰途に着いた。

.....

この2日間、ゆったりと流れるような行程のうちにも見所満載でした。

お食事が美味しかったとは皆さん口を揃えての感想でした。そして何より無事に終えられたことを喜びたいと思います。末筆になりましたが、伊藤加余子様、鬼本英太郎様、ドライバーさん、そしてこの旅の企画、お世話をして下さいました方々に深く感謝申し上げます。



J K L 淡路島1泊旅行に参加し、意気盛んなレディス
淡路島の高台から



名古屋(JNL)から参加した時習4回の4名(横田さん、鳥居さん、三林さん、松尾さん)

支部活動



「時習館同窓会関西支部ゴルフ会」

報告ならびにお知らせ
ゴルフ会幹事 山村 信哉 (時習 17)



平成 24 年は 6 月と 12 月に「ゴルフ会」を開催いたしました。

新しいメンバーも増えつつあります。腕に自信

○ 第 23 回 (平成 24 年 6 月 2 日)

於 愛宕原ゴルフ倶楽部

	東	中	GROSS	H・D	NET
優勝	46	43	89	17.6	71.4
2 位	47	45	92	18.8	73.2
3 位	58	56	114	36.0	78.0
4 位	44	45	89	10.4	78.6
5 位	50	41	91	11.6	79.4
6 位	59	57	116	36.0	80.0
7 位	56	59	115	32.0	83.0
8 位	56	62	118	34.4	83.6
9 位	62	63	125	36.0	89.0



於 三木よかわ C C

《参加者》

- 田村英雄 (豊 39)、石川吉之助 (時 12)
- 花井俊作 (時 17)、山村信哉 (時 17)
- 井上亮二 (時 18)、岡田順子 (時 20)
- 鈴木省三 (時 21)、藤井順子 (時 28)
- 近田 昇 (時 35)
- 柴田太一郎 (時 17 途中退場)

○ 第 24 回 (平成 24 年 12 月 1 日)

於 三木よかわカントリークラブ

《参加者》

- 石川吉之助 (時 12)、松尾英城 (時 13)
- 伊藤忠男 (時 13)、柴田太一郎 (時 17)
- 花井俊作 (時 17)、山村信哉 (時 17)
- 鈴木 自 (時 20)、藤井順子 (時 28)
- 近田 昇 (時 35)

	中	西	GROSS	H・D	NET
優勝	47	45	92	16.8	75.2
2 位	52	49	101	25.2	75.8
3 位	55	59	114	36.0	78.0
4 位	58	52	110	31.2	78.8
5 位	54	51	105	22.8	82.2
6 位	49	56	105	20.4	84.6
7 位	73	63	136	36.0	100.0
8 位	70	68	138	36.0	102.0
9 位	83	70	153	36.0	117.0

事務局から

お知らせとお願い



時習館同窓会関西支部事務局よりのお知らせ

平成24年度総会におきまして、本人のたつての希望から大石由紀子さん（時習10）が、副支部長を退かれ顧問に、それに伴い山村信哉前監事（時習17）が副支部長、利根川躍前理事（時習21）が監事に決定いたしました。また、大竹宏明氏（時習15）および木俣到丈氏（時習37）は理事を退かれ、新たに川瀬義隆氏（時習14）鈴木優氏（時習26）および松井誠一郎氏（時習27）と若手鈴木富美子さん（時習36）の4氏が理事に推薦され承認されました。今後とも皆様の変わらぬご支援をよろしくお願いいたします。

時習館同窓会関西支部規約

1. (名 称) 本会は時習館同窓会関西支部という。
2. (目 的) 本会は会員相互の親睦を計ることを目的とする。
3. (事 務 局) 〒542-0081 大阪市中央区南船場1-14-1
山本通産株式会社内（代表者 石川 吉之助）に置く。
4. (会 員) 本会の会員は時習館同窓会員で関西地方に在住する者とする。
5. (役 員) 本会に次の役員をおく。
支 部 長 1 名
副 支 部 長 若干名
理 事 若干名（うち1名を会計とする）
監 事 若干名
6. (役員任期) 役員任期は2年とする。但し再任を妨げない。
7. (役員選任) 役員は総会において選出する。
8. (役員職務)
 - (1) 支部長は本会を代表し、会務を報告する。
 - (2) 副支部長は支部長を補佐し、支部長事故あるときは、その職務を代行する。
 - (3) 理事は支部長・副支部長とともに本会業務の運営にあたる。
 - (4) 監事は本会の会計監査にあたる。
9. (総 会) 総会は毎年1回開催する。但し、必要に応じて臨時総会を開催することができる。
総会は支部長が招集する。
総会に提出し、その承認を受けなければならない事項は次のとおりとする。
 - (1) 前年度の会務及び収支決算報告
 - (2) 新年度の収支予算
 - (3) 役員選任
 - (4) 規約の改廃
 - (5) その他の重要な事項
10. (理 事 会) 理事会は、支部長の招集により開催し、本会の運営および企画の審議にあたる。
理事会は総会にかわって必要事項を議決することができる。但し、その内容を総会に報告しなければならない。
11. (議 決) 会議の議決は、出席会員の過半数の同意をもって決し、可否同数のときは議長が決するところによる。
12. (経 費) 本会の経費は、会費、賛助金、寄付金およびその他の収入金をもってこれにあてる。
13. (会 計 年 度) 本会の会計年度は毎年4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。
14. (規約の変更) この規約は総会の議決によって変更することができる。

会員の動静

《名簿簿から削除》＝カッコ内は理由

☆豊28 加藤直四郎(死亡) ☆豊36 藤井 博(死亡) ☆豊45 藤井 敏男(退) ☆豊45 毛受 良夫(死亡)
 ☆時2 山本 裕彦(退) ☆時4 鈴木 安彦(退) ☆時10 内田 栄治(死亡) ☆時11 松山喜司夫(退)

《変更・判明・追加分》

豊44 廣田光成	〒521-1351	滋賀県蒲生郡安土町下豊浦5247	0748-46-4016
時14 岡田康彦	〒162-0813	東京都新宿区東5軒町2-2-607	03-3235-0340
時17 神藤裕一郎	〒547-0002	大阪市平野区加美東3-1-1-302	
時27 戸田 治	〒440-0016	豊橋市牛川町浪ノ上25-10	090-1985-8380
時28 藤井順子	〒658-0047	神戸市東灘区御影1丁目13番-25-401号	078-855-6020
時32 倉田正也	〒590-0971	堺市堺区栄橋町1-2-15 KASEI堺505	
時39 神戸博央	〒663-8003	兵庫県西宮市上田市4丁目10-20	0798-54-8651
時48 川島正樹	〒604-8412	京都市中京区西ノ京南聖町10 丸美ハイツ	
時52 阿部太一	〒590-0102	堺市南区和田東329-2	
他支部へ転出者	・時21 石川 裕和(名古屋) ・時40 梅谷 靖子(名古屋) ・時41 真田 美香(名古屋) ・時56 小川 裕子(東京)		

(注) 東京支部の岡田康彦氏(時14)は関西支部会員にも加わられます。

《住所不明者リスト》

○豊中～時14

☆豊28 加藤 直四郎 ☆豊45 本田 道夫 ☆豊47 和田 直亮 時1 宮下 三郎 ☆時2 寺部 芳樹
 ☆時4 岡野 昇

○時15～時24

☆時15 柴田 俊夫 ☆時15 森川 恵子(田中) ☆時17 大林 孝彰 ☆時17 夏目 祥宏 ☆時18 石黒 明
 ☆時18 江辺 和子(兵頭) ☆時18 鳥井唱一郎 ☆時19 小久保裕司 ☆時20 二宮 公和 ☆時20 加藤 道明
 ☆時20 小林 俊明 ☆時21 丸尾 則子(柳本) ☆時22 豊田 文彦 ☆時22 鈴木 誠 ☆時23 河合富美子
 ☆時24 原田 典彦

○時25～時34

☆時25 柴本 浩典 ☆時25 鈴木 克実 ☆時26 鈴木 規文 ☆時27 松本 富夫 ☆時28 安里仁一郎
 ☆時28 鳥居 良行 ☆時29井口 章 ☆時29 金子 俊一 ☆時29 真柳 敦夫 ☆時31 安藤 秀高
 ☆時31 小早川 泰之 ☆時31 川村 達郎 ☆時31 高柳 和伸 ☆時31 福田 尚代(斎藤) ☆時31 平松 良平
 ☆時32 佐藤 錦一 ☆時33 松下 直昭 ☆時34 佐野 英樹 ☆時34 柴田 智充 ☆時34 直里 伸雄

○時35～時40

☆時35 三ツ矢 高章 ☆時37 城田有佳理(浅沼) ☆時36 尾崎 輝美(高橋) ☆時37 夫馬 知行
 ☆時37 長坂 一郎 ☆時37 糟谷 健二 ☆時37 丹野 優 ☆時37 磯田 規恵(牧原) ☆時38 吉田 亮子
 ☆時38 平尾 好章 ☆時39 小室 志乃(岡田) ☆時39 吉田 幸範 ☆時39 古瀬 勝美・弓絵 ☆時39 高木 勝正

○時41～

☆時41 小笠原 泰三 ☆時42 大隅 正彦 ☆時42 斉藤 祐子(磯部) ☆時42 原みどり(仲神) ☆時43 八幡 昌俊
 ☆時43 太田 陽子(高橋) ☆時44 高野 公子(石丸) ☆時44 続木 敬洋 ☆時44 矢野 裕司 ☆時45 田中 亜依
 ☆時46 下田 光孝 ☆時46 小森 恭子(秦) ☆時47 桑原 浩 ☆時46 高橋喜美子(宇野)
 ☆時48 三浦 由布子(荒島) ☆時49 戸崎 博行 ☆時50 田巻 文(鶴間) ☆時51 谷本 恵子(清水)
 ☆時51 酒井 隆 ☆時52 植田亜希子(菅沼) ☆時54 山内 大介 ☆時54 松永 良子

会員の皆さん、上記会員の方々の動静をご存じの方がおられましたら、事務局までご連絡ください。5年以上経過した方は削除いたしました。

皆様ご存じのように関西支部設立50周年の記念事業の一環として『時習館かんさい』17号から19号にかけて豊中、時習館の卒業生名簿を順次掲載しました。会員同士の親睦・交流をより一層深めていただくのが目的で、個人情報保護という点にも配慮しながら、分かる範囲で掲載するよう心がけました。

一連の名簿や変更情報などをご覧になって、あなた自身はもちろん、お知り合いの方に関し、記載事項に間違いを発見されたら、ご面倒でも事務局（山本通産株式会社内 石川支部長）または山村編集委員長まで郵便、FAXまたはEメール（宛て先は『時習館かんさい』表紙右上参照）でご報告願います。

今回の名簿に限りませんが、あなた自身がいずれかへ入学、就職、転任、転居の際、または改姓・改名の時もお知らせくださるようご協力をお願いいたします。

その時は次の6点を明記してご通知ください。

①卒業年次 ②氏名（旧姓も） ③郵便番号 ④現住所 ⑤職業または勤務先（所在地・屋号・職務など）あるいは卒業または在学学校名（詳しく科別も記入） ⑥（公開してもよい）電話番号か携帯電話番号

この名簿は会員相互の親睦と理解を図る目的で編集しています。個人のプライバシー保護には支部としても充分注意しておりますが、会員の皆様も取り扱いにはくれぐれもご注意ください。同窓会関係以外の第三者に閲覧させたり、交付することは絶対にしないでください。

今年も先輩から温かい援助

（平成25年4月1日現在）

賛助金 13万4,000円

今年度も卒業50年を経た先輩方から温かい援助の手が差しのべられています。現時点で、賛助金が60人の先輩から13万4000円寄せられました。本当にありがとうございました。

「後輩たちを元気づけてやろう」というお気持ちで十分です。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

『時習館かんさい』へ投稿してみませんか

自分の書いた文章や写真が冊子になって同窓生の手許に届くと考えるとワクワクしてきませんか？最近感動したこと、学生時代を振り返ってみて思うこと、こんな活動をしています、こんなイベントに参加しました、最近こんなことを考えています、など、気楽に書いて「時習館かんさい」へ是非ご投稿下さい。

☞原稿：1頁1600字程度が目安です。

「手書き」「ワードかテキストで入力したもの」いずれもOKです。

☞写真：「顔写真」と「文章と共に掲載する写真」を、原稿と共にお送り下さい。

簡単な写真の説明もぜひ添えて下さい。

☞1頁も書くのはなあ…短い文章なら書けるよという場合は、「私の1枚!」のようにお気に入りの写真を紹介していただくような形式もOKです。

原稿、写真は1月末ごろまでに、「Eメール添付」「郵送」「FAX(写真は郵送かEメール添付で)」で、編集委員長までお送り下さい。

〒665-0042 宝塚市逆瀬台1-11-4-1312

編集委員長 山村 信哉

TEL & FAX: 0797-74-4858

E-mail: nobu@yama@rose.sannet.ne.jp

（時習館同窓会関西支部役員一同）

編集余話



「挑戦」とは

不可能の反対語は可能ではなく「挑戦」である
ジャッキー・ロビンソン

今年は時習館創立120周年の記念の年。母校の歴史と伝統を何かの形で表現できないか…。

同窓生の活躍を皆さんに広くお伝えできれば、その役割の一端を担えるのではないかと考えました。そこで、この号では時習館精神を受け継ぎ、新たな世界に果敢に挑戦する同窓生を取り上げ、テーマを「伝統と創造」にしました。

企画を進める中で、時習館の伝統は脈々と生き続け、卒業生があらゆる分野で活躍されていることを知りました。この号でご紹介できない「隠れ名人」も多くおられます。今回は掲載できなかった方々にはこの場をお借りし、お詫び申し上げます。

○人生のスタートは「挑戦」から

時習館の精神は「自ら考え 自らなす」との教えに代表されるごとく、伝統の上にあぐらをかくことを強く戒めています。自分の力を信じ、自分の力を最大限発揮させるために、自分で成すべきことを見つけ果敢に挑戦—それが時習館教育の原点でした。

生まれてすぐ、見るもの聞くもの全てのことを初めて体験します。生きていくためには、新しいことに立ち向かう以外に道はなく、人としての第一歩はこの「挑戦」から始まります。

人生がこの「挑戦」から始まるものの、私たちは歳を重ねるにつれ、数々の失敗や危険に遭遇します。その恐れや不安が次第に大きくなり、今度は「躊躇」が頭をもたげます。歳はややもすると躊躇の増幅の歴史となり「今までどおり」「多くの人がしているから」「自分がしなくても」「新しいことは先が分からないから」「失敗の方が怖いよ」と防衛本能をますます大きくさせます。これでは、人類の発展も社会の変革もおぼつかないものになります。

時習館の精神はこの「躊躇」が「挑戦」を支配しないよう示唆していたに違いありません。

○日本人には「挑戦」の血が

一例ですが、日本人にはこんな人がいます。鳥の重さと羽の大きさをつぶさに調べ、人間の身体に合った鳥規模の翼を付ければ空を飛べると考え、実際に丘の上から飛び降り空を飛んだ浮田幸吉(1757年～1847年)、鳥が羽ばたかずに滑空する姿から、ライト兄弟より早くプロペラ飛行機(固定翼)で空を飛んだ二宮忠八(1866年～1936年)も夢を「挑戦」に変えています。彼らは失敗を糧とし、考えながら、新たな「挑戦」の課題を見い出す不屈の精神を持っていました。

○行きより帰りが近いのは何故？

皆さんにはこんな経験がありませんか。ある場所に行く際、行きは「かなり遠いなあ」と感じたのに、帰りは「こんなに近かったっけ」と思うことが…。また、一年の経過が子どものころと比べて倍以上の速さになっているような気がしませんか。これは、未知への挑戦と、経験したことを繰り返すのでは感覚に大きな違いが生じるために起こる現象だそうです。慣れと経験は時間を短く感じさせます。「挑戦」なくしては、人は時間を長く感じることはできないでしょう。

○「挑戦」こそ時習館の精神なり

新たな「挑戦」の歴史が新たな時代をもたらしてきました。一年が長く感じられるような「新たな挑戦」を、どれだけできたのか、それには新たなことに立ち向かう勇気が必要でしょう。

黒人初のメジャーリーガー、ジャッキー・ロビンソン氏はこう言っています。

「不可能の反対語は可能ではなく、挑戦である」。

彼の言葉は、「挑戦なくしては、何事も可能にならない」「考えずに、躊躇ばかりしては新しいものは生まれぬ」ということを我々に教えていて、これこそ時習館の精神そのものではないでしょうか。一年が長く感じられるような歳の取り方を重ねていきたいものです。

編集委員会一同

